

添付資料

目 次

- 23 添付資料① 見直したジオサイト・ジオスポットの基本的な考え方と一覧表
- 28 添付資料② 教育・普及活動一覧
- 31 添付資料③ ジオツアー一覧
- 32 添付資料④ ガイド養成活動一覧
- 34 添付資料⑤ 全ジオサイトの保全状況
- 36 添付資料⑥ GGN・APGN・JGN の会議などへの参加状況一覧
- 36 添付資料⑦ ジオパーク間交流活動の一覧
- 37 添付資料⑧ ジオパークに関する学术论文等の新たな研究成果の一覧
- 43 添付資料⑨ 総合案内板・説明板 ー総合案内板ー
- 46 総合案内板・説明板 ー説明板ー
- 74 添付資料⑩ 認定後に作成したパンフレット・ガイドブック・広報用グッズ等
- 75 添付資料⑪ アクションプラン（平成 24 年 3 月策定）



添付資料① 見直したジオサイト・ジオスポットの基本的な考え方と一覧表 1/5

ジオサイトの見直し及び再構成の基本的な考え方



男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会

■ 課 題

- ① 申請時のジオサイトは地質学的に特化したものであった
- ② 近年ではジオパークそのものの考え方に、歴史や文化など、大地の上に成り立つ人の活動を重視
- ③ ジオサイトとして「施設」が入っていない

■ ジオサイト見直しの基本的な考え方

- ① 地質学に特化しないジオサイトの選定
- ② 歴史や文化なども積極的に取り込む
- ③ 「見える」ものを重視―「見えない」ものはストーリーとして補完
- ④ 申請時のような地形の成り立ち分類ではなく、分野の大きな区分を採用→そのままジオツアーコースとして活用
- ⑤ これまで任意に使用されてきた「ジオサイト」や「ジオスポット」等の名称を統一し、ルール化する
- ⑥ ジオサイトの取り扱いについては以下の通りとする

1 「ジオサイト」と「ジオスポット」の大分類、小分類とする

ジオサイト ひとつの景観、地形グループ、単独の地形、岩石の露頭、化石床あるいは化石が存在する場所
ジオパークを特色づける、地形や地質、歴史などの見学場所や拠点施設一帯
※ジオスポットの集合体

ジオスポット 大地とそれに関わる現象、つまり地球そのものに関わる情報を与えてくれる場所
ジオサイトの中にある個々の見学場所
ジオサイト内にある見どころ(寒風山の板場の台や潮瀬崎のゴジラ岩等)

2 「ジオサイト」と「ジオスポット」に固有の番号を付す

ジオサイト アルファベット大文字
ジオスポット 算用数字

⑦ ジオストーリーを意識した個別テーマを与え、色分けをする

■	大地が生んだ「彫刻」の物語
■	大地が生んだ「絶景」の物語
■	大地が生んだ「火山」の物語
■	大地が生んだ「人」と「ナマハゲ」の物語
■	大地が生んだ「恵み」と「自然」の物語
■	大地が生んだ「災い」の物語
■	人が生んだ「大地」の物語



メインテーマ

半島と干拓が育む
人と大地の物語

⑧ 地理感覚のない人へ向けた大まかな地理情報をエリアとして付与する

エリアの定義 地理感覚がない方にも凡その位置がわかる地理区分

西海岸エリア	北海エリア	南海エリア
中央部エリア	大潟エリア	東部エリア

⑨ 各ジオスポットにそのスポットの魅力を一言でイメージできるキーワードを3つ付与する

キーワード	地質	自然	文化	歴史	食	体験
	伝説	探究	癒し	綺麗	発見	防災

■ 申請時のジオサイトと再認定審査に向けたジオサイトの変更点

申請前: 地質現象に特化して、容易に見れるもの、見えないものを包括して、全てピックアップした

再認定: 地質遺産を核に、そこから派生する文化、歴史、民俗、関連施設などを包括して、より魅力的なものへ再構成

結果として、22のジオサイトと100のジオスポットが選定された(ジオスポットはOga-Ogataをイメージできる数字となった)

添付資料① 見直したジオサイト・ジオスポットの基本的な考え方と一覧表 2/5

No.	ストーリー	エリア	ジオサイト ト ナンバー	ジオサイト	ジオスポッ ト ナンバー	ジオスポット	内容	キーワード
1		中央部エリア	A	拠点施設	1	男鹿市ジオパーク学習センター	男鹿半島・大潟ジオパークを学ぶ	体験 地質 防災
2		大潟エリア	A		2	大潟村干拓博物館	大潟村の成り立ちとジオパークを学ぶ	地質 歴史 地質
3		南海岸エリア	A		3	男鹿市内観光案内所(3か所)	男鹿半島を旅する	発見 食 探究
4		南海岸エリア	B	砂丘列	4	天保の飢饉供養塔	一帯を見渡せる砂丘上で供養する	自然 綺麗 癒し
5		南海岸エリア	B		5	船越近隣公園	砂丘が憩いの公園に	地質 歴史 探究
6		南海岸エリア	B		6	横長根A遺跡	砂丘に営まれた弥生時代の遺跡	歴史 自然 探究
7		南海岸エリア	C	旧八郎潟残存湖	7	八郎潟残存湖	旧八郎潟の名残	歴史 自然 文化
8		南海岸エリア	C		8	防潮水門	大潟村の生命線	歴史 伝説 自然
9		南海岸エリア	C		9	八竜橋	明治11年に開橋した有料橋	自然 歴史 伝説
10		南海岸エリア	C		10	八龍神社と魚類供養塚	漁業の神と魚への供養	歴史 自然 文化
11		南海岸エリア	D	生鼻崎	11	生鼻崎	地層の堆積がくっきり見える大露頭	地質 防災 綺麗
12		南海岸エリア	D		12	脇本城跡	安東氏による秋田支配の拠点的山城	歴史 伝説 綺麗
13		南海岸エリア	D		13	天神様の細葉の椿	菅江真澄も記録を残す椿の古木	自然 歴史 探究
14		中央部エリア	E	寒風山	14	噴火口	寒風山は火山だった	地質 自然 文化
15		中央部エリア	E		15	板場の台	火山の箱庭	地質 綺麗 発見
16		中央部エリア	E		16	回転展望台	男鹿半島・大潟を一望できる展望台	自然 食 綺麗
17		中央部エリア	E		17	姫ヶ岳	大蛇が越えた伝説の山	地質 伝説 綺麗
18		中央部エリア	E		18	鬼の隠れ里	鬼が見つた？火山の痕跡	地質 伝説 歴史
19		中央部エリア	E		19	地震塚	地震の死者を供養し復興を祈る	歴史 防災 体験
20		中央部エリア	E		20	滝の頭湧水	寒風山のめぐみ、おいしいお水	自然 歴史 癒し
21		南海岸エリア	F	船川港築港	21	男鹿のまるきぶね	樹齢300年以上の杉でつくる舟	歴史 文化 体験
22		南海岸エリア	F		22	旧船川線防波堤	海上を走っていた線路	自然 歴史 探究
23		南海岸エリア	F		23	船川港第一船入場・第二船入場防波堤	初期の船川港を知る遺産	自然 歴史 探究
24		南海岸エリア	G	鵜ノ崎海岸	24	鬼の洗濯板	褶曲の見える水平な露頭	地質 伝説 歴史
25		南海岸エリア	G		25	小豆岩	干潮時だけに姿を現す丸い岩	地質 自然 綺麗
26		南海岸エリア	H	館山崎	26	金崎	火山礫凝灰岩の露頭	地質 自然 綺麗
27		南海岸エリア	H		27	ツバキ自生北限地帯	地名にもなっている男鹿市の花ツバキ	自然 伝説 綺麗
28		南海岸エリア	H		28	椿の白岩	菅江真澄も記録を残す、別名まいたけ岩	地質 歴史 自然
29		南海岸エリア	H		29	グリーンタフ	きれいな緑色の特徴	地質 綺麗 探究
30		南海岸エリア	H		30	ろうそく岩	昔は「観音」、今「ろうそく」	地質 自然 歴史
31		南海岸エリア	H		31	牛岩	あなたは何に見えますか？	地質 自然 探究
32		南海岸エリア	H		32	鬼の足跡	鬼が残した？隠れスポット	地質 伝説 歴史
33		南海岸エリア	H		33	御前落とし—双六館跡—	身を投げた御前の伝説が残る	地質 歴史 伝説
34		南海岸エリア	I	潮瀬崎	34	ゴジラ岩	自然の美術館	地質 自然 発見
35		南海岸エリア	I		35	ゴジラの尻尾岩	自然の美術館	地質 自然 発見
36		南海岸エリア	I		36	カメ岩	自然の美術館	地質 自然 発見
37		南海岸エリア	I		37	ガメラ岩	自然の美術館	地質 自然 発見
38		南海岸エリア	I		38	双子岩	ふたり仲良く並んでる	地質 自然 発見
39		南海岸エリア	I		39	帆掛島	岩ですか？島ですか？	地質 自然 発見
40		西海岸エリア	J	西海岸	40	門前海岸	海からみると魅力的	地質 自然 綺麗
41		西海岸エリア	J		41	竜ヶ島	龍が昇るがごとく	地質 自然 綺麗
42		西海岸エリア	J		42	門前大滝	海上安全を祈願した信仰の滝	自然 癒し 綺麗
43		西海岸エリア	J		43	舞台島	漢の武帝が降り立ち、巫女舞い踊る	地質 歴史 伝説
44		西海岸エリア	J		44	孔雀の窟	ニホンユビナガコウモリの繁殖地	地質 自然 歴史
45		西海岸エリア	J		45	蝙蝠の窟	ニホンユビナガコウモリの繁殖地	地質 自然 歴史
46		西海岸エリア	J		46	大棧橋	天然の石橋	地質 綺麗 体験
47		西海岸エリア	J		47	白糸の滝	西海岸の断崖を、絹糸のように流れる	自然 綺麗 癒し
48		西海岸エリア	J		48	鬼の投岩	鬼が投げた？	地質 伝説 歴史
49		西海岸エリア	K	加茂青砂	49	石仏龕	阿弥陀如来像が安置されている	地質 歴史 文化
50		西海岸エリア	K		50	合川南小学校児童地震津波殉難の碑	日本海中部地震の記憶	歴史 自然 防災

添付資料① 見直したジオサイト・ジオスポットの基本的な考え方と一覧表 3/5

No.	ストーリー	エリア	ジオサイト ナンバー	ジオサイト	ジオスポット ナンバー	ジオスポット	内容	キーワード
51		西海岸エリア	K		51	旧男鹿市立加茂青砂小学校校舎・屋内体操場	昔ながらの学校建築	歴史 防災 探究
52		西海岸エリア	K		52	カンカネ洞	神秘的洞窟	地質 伝説 綺麗
53		西海岸エリア	K		53	天ヶ崎	集落を風から守る岬	地質 自然 地質
54		西海岸エリア	K		54	桜島	仙人気分？別名は「蓬莱島」	地質 自然 綺麗
55		西海岸エリア	L	金ヶ崎海岸	55	金ヶ崎海岸	温泉と黒曜石	地質 癒し 綺麗
56		西海岸エリア	M	男鹿水族館GAO	56	男鹿水族館GAO	男鹿と秋田の海物語	自然 体験 食
57		西海岸エリア	M		57	男鹿水族館前の海岸	水族館前に広がるマグマの通り道	地質 自然 探究
58		西海岸エリア	N	男鹿目潟火山群	58	八望台	故高松宮殿下が命名	地質 自然 綺麗
59		西海岸エリア	N		59	一ノ目潟	地球深部を覗く窓	地質 伝説 食
60		西海岸エリア	N		60	二ノ目潟	東北地方で唯一の火山	地質 癒し 綺麗
61		西海岸エリア	N		61	三ノ目潟	東北地方で唯一の火山	地質 自然 歴史
62		西海岸エリア	N		62	戸賀湾	長い浸食で満になった火口	地質 自然 綺麗
63		北海岸エリア	O	入道崎	63	鹿落とし	大地の恵み「石焼料理」の誕生	地質 歴史 食
64		北海岸エリア	O		64	鬼の懐ころがし	マグマの通り道、岩脈	地質 伝説 歴史
65		北海岸エリア	O		65	入道崎灯台資料展示室	日本の灯台50選に選定！	体験 綺麗 探究
66		北海岸エリア	O		66	北緯40° モニュメント	日本を横断する一本道	体験 歴史 探究
67		北海岸エリア	P	西黒沢海岸	67	西黒沢海岸	化石の天然博物館	地質 発見 癒し
68		北海岸エリア	P		68	こはま海岸	弘法大師の「續石伝説」	地質 伝説 発見
69		北海岸エリア	Q	男鹿温泉郷	69	男鹿温泉郷	大地のめぐみ、癒しの空間	癒し 歴史 自然
70		北海岸エリア	Q		70	鬼の隠れ道	石灰岩を運ぶトロッコロード	地質 歴史 体験
71		北海岸エリア	Q		71	野村海岸	露頭の観察地	地質 自然 探究
72		北海岸エリア	Q		72	湯の尻海岸	ぶりのメッカ	自然 綺麗 発見
73		中央部エリア	R	男鹿のナマハゲゆかりの地	73	なまはげ館・男鹿真山伝承館	男鹿のナマハゲを学ぶ・体験する	文化 歴史 伝説
74		中央部エリア	R		74	本山・赤神神社 五社堂	ナマハゲゆかりの信仰の山	歴史 伝説 文化
75		中央部エリア	R		75	鬼のつくった石段	鬼の伝説が残る999の石段	伝説 自然 歴史
76		中央部エリア	R		76	真山・真山神社	ナマハゲゆかりの信仰の山	歴史 文化 癒し
77		中央部エリア	R		77	安全寺の棚田景観	橋から見える日本の原風景	自然 綺麗 食
78		北海岸エリア	S	安田海岸	78	安田海岸	地層の天然博物館	地質 発見 自然
79		北海岸エリア	S		79	日本海中部地震津波慰霊之碑	日本海中部地震の記憶	自然 歴史 防災
80		北海岸エリア	S		80	震災復興碑	男鹿地震からの復興	自然 歴史 防災
81		北海岸エリア	S		81	潟西台地	おいしい男鹿梨の産地	地質 歴史 食
86		大潟エリア	T	八郎潟干拓	82	八郎潟干拓碑	大潟村発祥の地	歴史 発見 防災
87		大潟エリア	T		83	大潟神社	大潟村民の心のよりどころ	歴史 文化 伝説
85		大潟エリア	T		84	旧八郎潟入植指導訓練所	入植者は1年間で訓練を行いました	歴史 発見 探究
88		大潟エリア	T		85	南の池公園	入植記念碑が輝く	歴史 自然 綺麗
93		大潟エリア	T		86	大潟富士	山頂と足もとに注目	歴史 綺麗 発見
94		大潟エリア	T		87	八郎潟河川公園	日本海中部地震の記憶	防災 発見 歴史
97		大潟エリア	T		88	八郎潟干拓堤防最終締切地点	堤防が閉じられた最終締切地点	歴史 発見 探究
82		大潟エリア	U	大潟村の自然	89	八郎潟干拓地と菜の花畑	八郎潟干拓地に現れたお花畑	自然 癒し 綺麗
83		大潟エリア	U		90	サンルール大潟からの展望（男鹿半島と大潟村の集落地）	男鹿島があったから八郎潟ができた／八郎潟干拓地を景観してみよう	地質 自然 綺麗
84		大潟エリア	U		91	大潟モール温泉	500万年前の地層由来の温泉	癒し 食 地質
89		大潟エリア	U		92	国指定大潟草原鳥獣保護区と大潟草原野鳥観察舎	八郎潟干拓地に出現した野鳥の楽園	自然 体験 発見
91		大潟エリア	U		93	経緯度交差点	地上に現れた地球の十字路	歴史 発見 綺麗
92		大潟エリア	U		94	桜並木・菜の花ロード	ピンク色と黄色の鮮やかなコントラスト	歴史 綺麗 癒し
90		大潟エリア	V	干拓地の維持	95	八郎潟干拓堤防と農業用水取水設備(A1)	干拓地大潟村を支える基幹施設	歴史 発見 綺麗
95		大潟エリア	V		96	八郎潟干拓堤防と農業用水取水設備(E2)	干拓地大潟村を支える基幹施設	歴史 発見 綺麗
96		大潟エリア	V		97	八郎潟干拓堤防と農業用水取水設備(D1)	干拓地大潟村を支える基幹施設	歴史 発見 綺麗
98		大潟エリア	V		98	中央幹線排水路と南部排水機場	大潟村の水循環と水位調整の生命線	歴史 発見 探究
99		大潟エリア	V		99	1級幹線排水路と北部排水機場	大潟村の水循環と水位調整の生命線	歴史 発見 探究
100		大潟エリア	V		100	浜口排水機場	大潟村の水循環と水位調整の生命線	歴史 発見 探究

添付資料① 見直したジオサイト・ジオスポットの基本的な考え方と一覧表 4/5

日本ジオパーク申請時のジオサイト一覧①

ジオサイトの名称と概要			活用目的				付加価値					整備状況					
番号	サイト名称	ジオサイトの内容	教育	防災	科学	ツーリズム	景観	動植物	歴史・考古学	地質百選	国定公園	名勝・天然記念物	説明板	外国語対応	ガイドマップ	観察手引書	立入規制
■ステージ1 アジア大陸縁辺の火山活動																	
1-1	潮瀬崎	門前層の潮瀬/岬砂礫岩が、長い年月をかけて浸食を受けた様子を観察できる。	○		○	◎	○		○		○				○		
1-2	ゴジラ岩	ゴジラの横顔にそっくりなことから命名された岩。ほかにガメラ岩、アンギラス岩などもある。潮瀬/岬砂礫岩。	○		○	◎	○				○				○	○	
1-3	門前海岸	火山泥流によってできたものと推定される。門前層の一部の長葉寺砂礫岩を観察できる。	○		○	◎	○		○		○				○		
1-4	竜ヶ島	竜が門前大滝を昇るように見えたといわれているが、1939年の男鹿地震で形が変化した。	○		○	◎	○		○		○				○		
1-5	門前大滝	高さ約60m。かつては船乗りたちが海上安全を祈願した信仰の滝。	○		○	◎	○		○		○				○		
1-6	舞台島	高さ30mほどの頂上部分が平らになっている地形。門前層の最も下の舞台島玄武岩。	○		○	◎	○		○		○		○		○		
1-7	孔雀の窟	波の浸食によってできた、男鹿で最も規模が大きい海食洞。	○		○	◎	○	○			○	県指定			○		
1-8	大槌橋	門前層の最も下の舞台島玄武岩が、長い期間にわたる浸食を受けてできた天然の石橋。	○		○	◎	○		○		○		○		○		
1-9	本山	標高715.2m、男鹿半島の最高峰。台島層のデイスイトでできており、溶岩ドームとして噴出したとも考えられてい	○		○	◎	○	○			○				○		あり山頂部
1-10	白糸の滝	西海岸の断崖を、絹糸のように流れる滝。直接海に注いでいる。	○		○	◎	○		○		○		○		○		
1-11	カンカネ洞	波の浸食作用と土地の隆起によって、真山流紋岩の溶岩が長い時間をかけてえぐられてきた巨大な海食洞。	○		○	◎	○		○		○		○		○	○	
1-12	加茂青砂の石仏窟	秋田県では男鹿のみで産出するアノソクレーズの結晶を含む真山流紋岩でできた石造りの窟。	○		○	◎			○		○	市指定	○		○		
1-13	天ヶ崎	不規則にかたまった真山流紋岩の崖を観察できる。中にアノソクレーズの結晶を含む、門前層の最も上の部	○		○	◎	○				○				○	○	
1-14	桜島	赤茶色をしている大きくて平たい離れ島。門前層の流紋岩や玄武岩質安山岩のゴツゴツした岩場を観察できる。	○		○	◎					○				○	○	
1-15	長崎と鹿ノ鼻断崖	長葉寺玄武岩を中心に、門前層の中間部分にあたるさまだまな地層を見ることができる。	○		○	◎	○	○			○				○	○	
1-16	金ヶ崎海岸	入り江のほぼ中央の波打ち際に、コンクリートの露天風呂跡が残っており、温泉が今でも湧出している。	○		○	◎	○		○		○				○		
1-17	男鹿水族館前	緑色や灰色をした岩脈が、もともとあった安山岩の地層の中に貫入した様子を観察できる。	○		○	◎									○	○	
1-18	鬼のタッポ (鬼の田っこ海岸)	男鹿半島で最も古い土台となる基盤岩の中を、後から入り込んだ玄武岩の岩脈が貫入している様子を観察でき	○		○	◎	○				○		○		○	○	
1-19	入道崎	かつての波打ち際の波食台が隆起したと考えられている岩台が広がっている。	○		○	◎	○		○		○		○		○	○	
1-20	鹿落とし	郷土料理の石焼に使用される、溶結凝灰岩の一種が観察できる。	○		○	◎	○		○		○		○		○	○	
1-21	ごろ投げ岩	鬼(ナマハゲ)が赤神神社五社堂の石段を登いた時、あと1段のところで完成できなかった腹いせに、放り投げた岩だと伝えられている。	○		○	◎	○				○				○		
1-22	居帽子岩	高さ約30mの巨岩。数千万年前の激しい火山活動の生成物。門前層。	○		○	◎	○				○				○		

ジオサイトの名称と概要			活用目的				付加価値					整備状況					
番号	サイト名称	ジオサイトの内容	教育	防災	科学	ツーリズム	景観	動植物	歴史・考古学	地質百選	国定公園	名勝・天然記念物	説明板	外国語対応	ガイドマップ	観察手引書	立入規制
1-23	蝙蝠の窟	舞台岩の断崖の下にある洞窟。東の天然記念物ニホンキクシラコウモリ、ニホンユビナガコウモリが1万匹以上も生息しているといわれる。	○		○	◎	○	○	○		○	県指定			○		
1-24	たたみ岩	ブロック状の礫岩が散在している。付近に、直径1mあまりの陥穴もある。	○		○	△	○				○				○		
1-25	カモメ島	飛び立とうとするカモメの頭と首に似ている島。角度によってまったく別の形に見える。	○		○	◎					○				○		
1-26	屏風岩	一枚岩。岩の周囲に落石防止のフェンスを設置する工事が行われている。	○		○	△	○				○				○		
1-27	宮島	大きな岩島。白い戸賀灯台が立ち、海上守護の神である弁財天が祀られている。	○		○	◎	○	○	○		○				○		
1-28	弁天丘	海側に島居のある小さな丘。一帯の地層は赤島層で、対岸の帯状の貫入岩がここまで延び、海中に消えている。	○		○	◎	○				○				○		
■ステージ2 ユーラシア大陸東縁部が裂開する時期の火山活動																	
2-1	金崎	山側は急な崖になっており、台島層の凝灰岩が観察できる。	○		○	◎					○		○		○	○	
2-2	棒の白岩	館山崎の周辺で見られる緑色凝灰岩のひとつ。菅江真澄は「棒の白岩」と記述した。	○		○	◎	○		○		○				○	○	
2-3	館山崎	緑色凝灰岩の地層のほか、凝灰岩やガラス状の真珠岩、波による浸食で形成された陥穴などを見ることがで	○		○	◎	○		○						○	○	
2-4	小浜の鯛口岩	台島層の火山凝灰岩。かつてはウニが大口を開けて見えたが、崩落の危険があるため岩が削られた。	○		○	◎	○		○						○		
2-5	帆掛島	一枚岩としては男鹿半島で最も大きい岩石。台島層の溶結凝灰岩。	○		○	◎					○				○		
2-6	棒の能登山	ヤブツバキの群落。棒自生北限地帯として国の天然記念物に指定されている。	○		○	◎	○	○	○		○	国指定	○				
2-7	ろうそく岩	ろうそくのように細長く立っている、小さな礫を含む凝灰岩。地震により上部が崩落した。	○		○	◎	○										
2-8	弁天島	三角形の島。ウミナコの営業地で、市指定の天然記念物。島のよに弁天様を祀る小さな祠がある。	○		○	◎	○				○						
2-9	竜巻岩	頂上に松の生える細長い岩。地裏の岩盤とつながっていないため、強い竜巻がここまで運んだといわれている。	○		○	◎	○										
2-10	赤神神社五社堂	石段を登りつめたところに五棟の社殿が並び建つ。中世～近世社寺建築として価値が高い。国指定重要文化	○		○	◎	○		○				○				
■ステージ3 日本海の出現と進化（浅海→深海→浅海）																	
3-1	鯛ノ崎	沖合200m～300mに波食台が広がっている。向斜の様子も観察することができる。	○		○	◎	○	○	○		○				○	○	
3-2	野村海岸	海が深かったころの船川層の泥岩を観察できる。	○		○	◎	○				○				○	○	
3-3	西黒沢海岸	礫岩や砂岩の中に海に住む様々な動物の化石が数多く含まれており、男鹿の海の生い立ちを知ることができる。	○		○	◎	○				○		○		○	○	
3-4	臨本打ヶ崎	貝の化石を含む、砂層を中心とした船川層を観察できる。	○		○	◎									○	○	
3-5	生鼻崎	縦横模様がよく見える、60万年前の北浦層の断崖。砂岩と泥岩が交互に積み重なっている様子を観察できる。	○		○	◎	○		○						○	○	
3-6	台ヶ島	半島南部の南端海岸で見られる西黒沢層。やや黒っぽく堅い砂岩が広がり、黒崎とも呼ばれる。	○		○	○	○				○		○				

添付資料① 見直したジオサイト・ジオスポットの基本的な考え方と一覧表 5/5

日本ジオパーク申請時のジオサイト一覧②

ジオサイトの名称と概要			活用目的				付加価値					整備状況					
番号	サイト名称	ジオサイトの内容	教育	防災	科学	ツーリズム	景観	動植物	歴史・考古学	地質百選	国定公園	名勝・天然記念物	説明板	外国語対応	ガイドマップ	観察手引き書	立入規制
3-7	こはま海岸	西黒沢漁港の西側にある美しい海岸。静かで穏やかな砂浜が広がっている。	○			◎	○										
3-8	臨本城跡	総面積約150haに及び、東北最大城といわれる中世の城館跡。国指定史跡。	○			◎	○		○				○				
■ステージ4 新しい時代(第四紀)の火山活動																	
4-1	目黒火山群	マゴク水蒸気爆発によってできたマールに水がたまったもの。	○		○	◎	○	○			○	国・県	○		○	○	
4-2	寒風山山頂	およそ2万年前に噴火によって形成された成層火山。山頂は354.8m、安山岩の溶岩でできている。	○		○	◎	○	○			○		○		○	○	
4-3	板場の台	妻恋峠火口から流れ出た溶岩流の表面にできた、溶岩堤防、溶岩じわが観察できる。	○		○	◎	○	○			○				○	○	
4-4	短ヶ岳	寒風山のもう一つのピーク。大きな地すべりによって現在の位置に移動したと考えられている。	○		○	◎	○	○			○				○	○	
4-5	鬼の隠れ里	巨大な岩のかたまりが数メートルの高さのピラミッド状に積み上がった火山岩尖と考えられる小山。	○		○	◎	○						○		○	○	
4-6	滝の頭湧水	寒風山山麓の湧水のうちもっとも湧水量が豊富で、飲料水として利用されている湧水。	○		○	◎	○	○					○		○	○	あり 管理室に届出
4-7	戸貫湾	およそ42万年前の戸貫火山噴火でできた火口の一部が入り江になったもの。	○		○	◎			○		○				○	○	
4-8	石川忠右衛門堂祭之碑	江戸時代、寒風石の採掘・加工・販売を手がけた石工の棟梁の顕彰碑。	○			△			○		○						あり 採石場
■ステージ5 第四紀の地盤の挙動																	
5-1	船川港の船入場防波堤	大正昭和にかけて防波堤が完成。寒風山の安山岩を使った石組みの防波堤は現在珍しい。	○		○	△	○		○								
5-2	加茂青砂の地震津波慰霊碑	1983年5月26日の日本海中部地震で津波の犠牲となった合川南小学校の児童13名の慰霊碑。	○	○	○	◎			○		○				○	○	
5-3	男鹿温泉の石灰層	湯本断層から地表に湧き出た温泉水の石灰分が沈殿し、積み重なったもの。	○		○	◎	○				○		○		○	○	
5-4	北浦～真山の海岸段丘	男鹿半島の山地を除く地域に広く発達している海岸段丘を観察できる。	○		○	◎	○				○				○	○	
5-5	間口浜	泥岩と薄い砂岩がくり返し積み重なった北浦層と、地層中の逆断層を観察できる。	○		○	◎	○				○				○	○	
5-6	安田海岸	50年あまり前から9万年前までの地層が広大に露出している。化石、亜炭層、広域テフラなどを観察できる。	○		○	◎	○		○		○		○		○	○	
5-7	男鹿地震五里合地区復興記念碑	1939年5月1日の日本海中部地震により破壊された五里合地区の水利施設の復興を記念して建てられたもの。	○	○		◎			○		○				○		
5-8	橋本段丘と湖西段丘	2段になって延びる海岸段丘の地形が観察できる。湖西段丘は男鹿半島の段丘の中では最も分布が広い。	○		○	◎	○								○	○	
5-9	能代砂丘	1万年前以降に形成された海岸砂丘。腐植土をともなう3枚の砂層が、20mほどの厚さで堆積している。	○		○	◎	○								○	○	あり 採砂場
5-10	地震塚	1810年と1939年の地震の犠牲者を供養する石碑。男鹿半島は地震災害が多いことが見学からわかる。	○	○		◎			○		○				○		

ジオサイトの名称と概要			活用目的				付加価値					整備状況					
番号	サイト名称	ジオサイトの内容	教育	防災	科学	ツーリズム	景観	動植物	歴史・考古学	地質百選	国定公園	名勝・天然記念物	説明板	外国語対応	ガイドマップ	観察手引き書	立入規制
■ステージ6 八郎潟と人工の大地																	
6-1	大潟村	日本第2の湖であった八郎潟を干拓して造られた、人口の大地。	○		○	◎	○	○	○				○		○		
6-2	八郎湖	干拓前の約5分の1の面積が、残存湖として残っている。干拓地とは干拓堤防で隔てられている。	○		○	◎	○	○	○						○		
6-3	八郎潟干拓記念碑と水位標	当地で昭和39年に干陸式が行われた。また、かつての八郎潟の水面の高さを示す水位標が立つ。	○		○	◎									○		
6-4	中央干拓地と干拓堤防	国営八郎潟干拓事業により、八郎潟の湖底に出現した干拓地。面積15,666ha。周囲を51.5kmの干拓堤防で囲まれており、農業用水取水口が19箇所設けられている。	○	○	○	◎	○	○					○				
6-5	幹線排水路と排水機場	中央干拓地の水の維持管理を行う施設。干拓地内の水は全て幹線排水路に集められ、末端2箇所に設けられた排水機場から干拓地外に排水される。	○	○	○	◎	○						○		○		あり
6-6	防潮水門	八郎湖と日本海をつなぐ船越水道に設けられている。八郎湖内に海水が入るのを防ぐとともに、水位を一定に保つ役割をもつ。	○	○	○	◎	○						○		○		あり
6-7	経緯度交差点標示塔	北緯40度、東経140度が交わる点。10度単位で交わる地点は日本でここだけであり、「地球の十字路口」といえる。	○		○	◎	○						○		○		
6-8	大潟富士	標高0m(海抜0m)の築山。富士山の1/1,000の3.776mでかつ山頂の標高が0mとなるように造られた。	○			◎							○		○		
6-9	大潟草原鳥獣保護区	干拓後の未開発地を有する鳥獣保護区。オオセッカやチュウヒ等、希少鳥類の生息が確認されている。	○		○	◎	○	○					○				あり
6-10	大潟村干拓博物館	八郎潟の干拓と大潟村の歴史、農業、自然、文化等を展示する博物館。地域住民とともに、様々な企画展示・教育普及活動を実施している。	○	○	○	◎		○	○				○	○	○		
6-11	サンルール大潟とボルダー潟の湯	大潟モール温泉。火山活動由来ではなく、500万年前の海水が地層水となった、腐植質を多く含んでいる。				◎							○				

添付資料② 教育・普及活動一覧 1/3

◆学校教育等への支援活動

年度	内容	回数	校数	人数
平成23年度	教育的活用(授業支援・夏季セミナー・クラブ活動)	3	3	107
平成24年度	教育的活用(授業支援・夏季セミナー・クラブ活動)	38	36	1,390
平成25年度	教育的活用(授業支援・夏季セミナー・クラブ活動)	56	59	2,279
平成26年度	教育的活用(授業支援・夏季セミナー・クラブ活動)	54	49	1,979
平成27年度	教育的活用(授業支援・夏季セミナー・クラブ活動)	22	16	902
合計		173	163	6,657

※校数は授業の一環で来館したのべ校数(小規模校は近隣校と合同での来館等あり)

◆イベント・保全・企画展等の普及活動

年度	内容	回数	人数
平成23年度	博物館活動等によるジオパーク関連イベント	4	108
	ジオパーク普及イベント(県内連携開催含む)	1	80
	博物館活動等によるジオパーク関連企画展	2	5,305
	ジオパーク企画展	0	0
平成24年度	博物館活動等によるジオパーク関連イベント	12	594
	ジオパーク普及イベント(県内連携開催含む)	3	2,050
	博物館活動等によるジオパーク関連企画展	3	13,793
	ジオパーク企画展	1	825
平成25年度	博物館活動等によるジオパーク関連イベント	12	482
	ジオパーク普及イベント(県内連携開催含む)	5	1,832
	博物館活動等によるジオパーク関連企画展	4	16,584
	ジオパーク企画展	2	15,830
平成26年度	博物館活動等によるジオパーク関連イベント	9	353
	ジオパーク普及イベント(県内連携開催含む)	7	4,393
	博物館活動等によるジオパーク関連企画展	5	31,098
	ジオパーク企画展	4	49,891
平成27年度	博物館活動等によるジオパーク関連イベント	5	176
	ジオパーク普及イベント(県内連携開催含む)	5	2,253
	博物館活動等によるジオパーク関連企画展	0	0
	ジオパーク企画展	3	7,800
合計		87	153,447

※ジオパーク普及イベント・ジオパーク企画展は「ジオパーク」等文言が入った事業

添付資料② 教育・普及活動一覧 2/3

◆出前講座(外部から依頼を受けて実施したもの)

年度	内容	回数	人数
平成23年度	出前講座	0	0
平成24年度	出前講座	0	0
平成25年度	出前講座(出前講座制度確立)	10	271
平成26年度	出前講座(現地ガイド制度確立)	1	14
平成27年度	出前講座	2	87
合計		13	372

※座学の講座のみ集計。現地見学を含む講座は学校教育への支援活動・社会教育的活用で集計

◆検定試験(ジオパーク検定)

年度	内容	回数	人数
平成24年度	第1回初級編	1	132
平成25年度	第2回初級編	1	30
	第1回上級編	1	60
合計		3	222

※H26以降はガイド認定試験へ統合のため、実施していない

◆視察等受入(県・市町村議会・他ジオパーク関連地域等)

年度	内容	回数	人数
平成23年度	視察受入(久慈市・中頓別町議会等)	4	22
平成24年度	視察受入(秋田市・東松島市・藤沢市議会等)	10	126
平成25年度	視察受入(菊地市・山口市議会等、鳥海山・飛鳥地域)	7	92
平成26年度	視察受入(京都府・大和郡山市議会・山陰海岸GP等)	6	37
平成27年度	視察受入(市原市・福岡県議会等)	2	25
合計		29	302

※ジオパーク地域として視察を受けたもののみ集計

◆研修受入(外部研修の受入のみ)

年度	内容	回数	人数
平成23年度	研修受入(老人クラブ等)	3	62
平成24年度	研修受入(教職員・町内会・文化財関係等)	4	92
平成25年度	研修受入(社会教育主事・教職員等)	4	104
平成26年度	研修受入(教職員・自然観察指導員・警察署等)	11	204
平成27年度	研修受入(教職員・人事院初任者・男鹿市初任者等)	6	193
合計		28	655

※ジオパーク地域として研修を受けたもののみ集計

添付資料② 教育・普及活動一覧 3/3

◆新聞報道・取材等依頼

年度	内容	回数	紙数・局数
平成23年度	新聞掲載(取材・告知等)	11	11
	テレビ・ラジオ	4	4
平成24年度	新聞掲載(取材・告知等)	26	26
	テレビ・ラジオ	5	5
平成25年度	新聞掲載(取材・告知等)	38	38
	テレビ・ラジオ	1	1
平成26年度	新聞掲載(取材・告知等)	25	25
	テレビ・ラジオ	6	6
平成27年度	新聞掲載(取材・告知等)	16	16
	テレビ・ラジオ	1	1
合計		133	133



H26・H27 実施のジオパーク事業チラシ



ジオカード(全5種)とオリジナル台紙



【H26】北都銀行男鹿支店での展示



【H26】大鉄道ジオラマ博での展示



【H26】国民文化祭ジオ事業企画展

添付資料③ ジオツアー一覧

No.	ツアー名	実施日	定員	参加者	応募	ツアー催行
1	鬼がつくったジオサイトめぐり 第1回	H24.7.14	35名	35	先着順	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
2	縁結びのジオサイトめぐり	H24.10.7	25名	21	21名	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
3	鬼がつくったジオサイトめぐり 第2回	H24.10.21	35名	35	56名・抽選	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
4	鬼がつくったジオサイトめぐり 第3回	H25.5.26	35名	35	51名抽選	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
5	ジオパークで女子力アップ!	H25.7.15	25名	25	127名・抽選	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
6	ジオパークで合コン!「ジオコン」	H25.8.24	28名	33	33名	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
7	ジオパークを歩こう! フットパス	H25.9.23	25名	25	30名・抽選	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
8	ジオクルーズモニター	H25.9.27	-	24	-	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
9	親子であそぶ! たべる! ジオパークツアー	H25.10.20	25名	25	42名・抽選	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
10	ジオパークで男鹿の味覚体験ツアー	H26.1.13	25名	25	117名・抽選	NPO法人あきた地域資源ネットワーク
11	満喫! 食い倒れ男鹿半島・大潟ジオパーク～甘味編～	H26.10.11	80名	71	先着順	男鹿市観光協会
12	満喫! 食い倒れ男鹿半島・大潟ジオパーク～伝統・地場産食～	H26.10.12	80名	79	先着順	男鹿市観光協会
13	満喫! 男鹿のナマハゲを堪能するジオツアー	H26.10.5	40名	17	先着順	男鹿市観光協会
14	湖底に誕生した大地・大潟村をめぐるジオツアー①	H26.10.18	40名	18	先着順	男鹿市観光協会
15	湖底に誕生した大地・大潟村をめぐるジオツアー②	H26.10.20	40名	16	先着順	男鹿市観光協会
16	満喫! 男鹿半島の魅力にせまるジオツアー	H26.10.25	40名	40	先着順	男鹿市観光協会
17	漁船でめぐる男鹿のジオパーク	H26.5～8	-	58	随時	秋田県・NPO法人あきた地域資源ネットワーク
18	漁船でめぐる男鹿のジオパーク	H27.5～8	-	71	随時	秋田県・NPO法人あきた地域資源ネットワーク
		合計	653			

※推進協議会、男鹿市、大潟村が実施主体としたツアー

◆社会教育的活用(ガイド付ツアー)

年度	内容	回数	人数
平成23年度	社会教育(男鹿・大潟地域からのお客様)	5	126
	社会教育(その他の地域からのお客様)	31	740
平成24年度	社会教育(男鹿・大潟地域からのお客様)	20	514
	社会教育(その他の地域からのお客様)	64	1,742
平成25年度	社会教育(男鹿・大潟地域からのお客様)	7	338
	社会教育(その他の地域からのお客様)	65	1,382
平成26年度	社会教育(男鹿・大潟地域からのお客様)	16	388
	社会教育(その他の地域からのお客様)	62	1,367
平成27年度	社会教育(男鹿・大潟地域からのお客様)	11	224
	社会教育(その他の地域からのお客様)	34	789
合計		315	7,610

※ガイド付ツアーを集計(男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会・大潟村案内ボランティアの会)

※観光目的のガイド付ツアーも社会教育的活用として集計

◆男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会ツアー実績(有料ガイド)

年度	依頼件数	総客数	会としての収入	派遣延べガイド数
平成26年度	43	991	222,000	80
平成27年度	30	745	205,000	102
合計	73	1,736	427,000	182

※H27は9/15までの実績値

※教育的活用等全て含んだ、会としての実績実績

※H27のガイド数には、新認定者の同行(無料)含む

添付資料④ ガイド養成活動一覧 1/2

年度	日付	種別	内容	講師
H23	2011/4/16	-	座学「大陸での火山活動」	藤本幸雄 白石建雄
	2011/4/17	-	現地研修「入道崎～戸賀湾～加茂青砂～潮瀬崎～館山崎」	
	2011/5/21	-	座学「日本海の出現と進化」	渡部晟 白石建雄
	2011/5/22	-	現地研修「西黒沢海岸～男鹿温泉の石灰華～鵜ノ崎海岸」	
	2011/6/18	-	座学「新しい時代の火山活動と地層」	林信太郎 白石建雄
	2011/6/19	-	現地研修「八望台～寒風山～安田海岸」	
	2011/7/16	-	座学・現地研修「八郎潟と人工の大地、大潟村」 大潟村公民館～八郎潟干拓地（大潟村）～大潟村公民館	薄井伯征 樋熊正夫
	2011/9/5	-	日本ジオパーク認定	
H24	2012/10/27	初級第1回	オリエンテーション 座学「ジオパーク総論～男鹿半島・大潟ジオパークの魅力」	白石建雄 渡部晟
	2012/10/28		フィールド研修「入道崎～西海岸」	渡部晟
	2012/11/9	初級第2回	座学「男鹿半島の地質と地層」	渡部晟
	2012/11/10		フィールド研修「潮瀬崎～館山崎～鵜ノ崎」	渡部晟
	2012/11/16	初級第3回	座学「日本列島の生い立ちと男鹿のジオ」	渡部晟
	2012/11/17		フィールド研修「西黒沢海岸～安田海岸」	渡部晟
	2012/11/24	初級第4回	フィールド研修「八望台～寒風山」 座学「男鹿はなぜここにあるのか」	渡部晟
	2012/11/29	初級第5回	フィールド研修（模擬ガイド演習） 「西海岸～潮瀬崎～館山崎」	-
	2012/12/7	初級第6回	ガイド演習「29日の模擬ガイド演習」・「バーチャルジオガイド」	-
	2012/12/8		フィールド研修「大潟村」	樋熊正夫
	2012/12/15	初級第7回	座学「男鹿の野鳥」 「菅江真澄とめぐる男鹿半島ジオの風景」 「男鹿の歴史と文化」	佐藤磯男 永井登志樹 天野荘平
	2013/1/12	初級第8回	座学「男鹿国定公園内における自然公園制度の概要等」 「ジオガイド実践ノウハウ」 「男鹿の自信と記録、痕跡」	新号和政 藤原優太郎 天野荘平
	2013/1/26	初級第9回	ガイド演習 「バーチャルジオツアー～受講生による模擬ガイド発表」 閉講式	渡部晟 白石建雄
	2013/2/2	初級第1回	施設見学「秋田県立博物館・鉱業博物館」	-
H25	2013/6/8	上級第1回	開講式 座学「地質学の基礎」 実技研修「間口浜～安田海岸～琴川地区～中石地区」	白石建雄
	2013/6/22	上級第2回	座学「ジオパークガイドにおけるインタープリテーション」 「男鹿半島の階序と地質遺産」 見学研修「入道崎～鬼のタッコ海岸～男鹿水族館」	永井登志樹 藤本幸雄
	2013/7/6	上級第3回	実技研修 「加茂青砂海岸～芦ノ倉～赤神社五社堂～潮瀬崎～館山崎～能登山の椿」	藤本幸雄
	2013/7/18	上級補習	見学研修「脇本城跡～菅原神社」「意見交換会」	-
	2013/7/20	上級第4回	座学「ミニ講義：日本海でつくられた地層」 実技研修「西黒沢海岸～こはま海岸～野村海岸～金崎海岸～台島海岸～鵜ノ崎海岸～船川第一船入場防波堤～生鼻崎」	渡部晟
	2013/8/31	上級第5回	実技研修「八望台展望台～ノ目潟湖畔～男鹿温泉～滝の頭湧水～滝の頭浄水場～寒風山」	林信太郎
	2013/9/8	上級第6回	ジオパークガイド養成講座（第1回～第5回）実技研修まとめ 見学研修「寒風山～男鹿梨果樹園」	-
	2013/9/14	初級第1回	開講式 座学「ジオパークとは～男鹿半島・大潟ジオパークの魅力」 見学研修「ジオパーク学習センター展示室～八望台展望台～寒風山」	白石建雄
	2013/9/28	初級第2回	座学「男鹿と大地の物語(1)」 見学研修「入道崎～鬼のタッコ海岸～男鹿水族館」	渡部晟
	2013/10/2	上級第7回 初級第3回	八峰白神ジオパーク現地視察 見学研修「白瀬神社～ブラックサンドビーチ～チゴキ岬～板尻」「意見交換会」	渡部晟 薄井伯征
	2013/10/12	初級第4回	座学「男鹿と大地の物語(2)」 見学研修「芦ノ倉駐車場～潮瀬崎～館山崎～鵜ノ崎海岸」	渡部晟
	2013/10/26	初級第5回	座学「男鹿と大地の物語(3)」 見学研修「西黒沢海岸～間口浜～安田海岸」	渡部晟
	2013/11/9	上級第8回 初級第6回	座学「男鹿島と八郎潟のおいたち」 「ジオパークガイドの心得」 見学研修「八郎潟干拓博物館展示ホール～干拓碑・水位標～経緯度交会点標示塔～大潟富士・八郎潟干拓記念水 位塔～農業用水取水口～南部配水機場」	渡部晟 薄井伯征
	2013/11/23	初級第7回	座学「男鹿の歴史と文化財」 「自然公園法について」 ガイド演習「私のオススメ！ジオツアー」	天野荘平 小玉正志
	2013/12/7	上級第9回 初級第8回	座学「ジオとハタハタ」 「男鹿の大地となまはげ」 見学研修「北浦漁港～真山神社～なまはげ館」	永井登志樹 天野荘平
	2013/12/14	上級第10回	「受講者によるバーチャルジオツアー」 「閉講式ならびに修了証書授与式」	-
	2013/12/21	初級第9回	「受講者によるバーチャルジオツアー」 「閉講式ならびに修了証書授与式」	-
	2014/3/25	ガイド認定式	第1期 ガイド認定（13名）	

添付資料④ ガイド養成活動一覧 2/2

年度	日付	種別	内容	講師
H26	2014/6/21	上級第1回	開講式 座学「ジオパークの最新情報とガイドの心得」 「男鹿半島・大潟ジオパーク～大地のストーリーを伝えるために」 フィールド研修「鹿落とし崎～鬼の懐ころがし～潮瀬崎」	五十嵐祐介 薄井伯征 相場博 鈴木和子
	2014/7/19	上級第2回	ガイド演習「館山崎～鶴ノ崎海岸～安田海岸～寒風山」	渡部晨 藤原儀弘 吉田さみ子
	2014/8/23	上級第3回	座学「男鹿半島・大潟ジオパークの歴史めぐり」 「男鹿半島・大潟ジオパークの食文化と伝統文化」 フィールド研修「脇本城跡」 ガイド演習「赤神社五社堂」	五十嵐祐介 天野莊平 小野金弘 天野真
	2014/9/13	ガイドスキルアップ講座	オリエンテーション 座学「男鹿半島・大潟ジオパークの食文化」 「男鹿半島・大潟ジオパークについて最近考えていること」 フィールド研修「大潟富士～安田海岸」	五十嵐祐介 白石建雄
	2014/9/20	上級第4回	座学「大潟村・八郎潟の形成と干拓の歴史」 「人工の大地大潟村に住む生物たち」 フィールド研修「野鳥観察ステーション」 ガイド演習「八郎潟干拓碑～水位標と防災林～経緯度交差点標示塔～大潟富士～菜の花ロード」	渡部晨 京谷和弘 樋熊正夫 藤原儀弘
	2014/10/18	ガイドスキルアップ講座	座学「各ジオパークのストーリー・男鹿半島と地球」 「定石を知っているから春が打てる？ジオストーリーの話」 ワークショップ「ジオストーリーの作成」	林信太郎 工藤英美
	2014/10/25	上級第5回	座学「男鹿の海に生息する生物たち」 「男鹿半島の地震被害と復興」 フィールド研修「五里合震災復興碑・津波慰霊碑」 ガイド演習「八望台～年縞やカンラン岩～石仏窟～地震津波殉難の碑～カンカネ洞」	土田織恵 白石建雄 相場博 鈴木和子
	2014/11/29	上級第6回 ガイドスキルアップ講座	ゆざわジオパーク視察・研修	小嶋正夫 大川栄一 加賀美典明
	2014/12/20	上級第7回	「受講者によるバーチャルジオツアー」 「閉講式並びに修了証書授与式」	
	2015/2/19	ガイド認定式	第2期 ガイド認定（15名）	
H27	2015/6/20	初級第1回	開講式 座学「ジオパークの概要」 「男鹿半島・大潟ジオパークの概要」 フィールド研修「鹿落とし～北緯40度モニュメント～鬼の懐ころがし～潮瀬崎」	菊地光和 白石建雄 登藤栄子
	2015/7/18	初級第2回	フィールド研修「館山崎～鶴ノ崎海岸～寒風山～滝の頭湧水～安田海岸」	渡部晨 坂本幸子
	2015/8/22	初級第3回	座学「ガイドとしての基礎知識」 「大潟村の概要」 フィールド研修「サンルール大潟屋上～野鳥観察舎～八郎潟干拓碑～サイフォン式取水口・干拓堤防～大潟富士・中央幹線排水路～経緯度交差点標示塔」	薄井伯征 渡部晨 進藤智哉 川辺謙三
	2015/9/12	初級第4回	座学「男鹿市の文化財」 「男鹿市の食文化」 フィールド研修「赤神社五社堂～脇本城跡」	五十嵐祐介 天野莊平 杉本真寿美
	2015/9/13	ガイドスキルアップ講座	開講式 座学「日本列島形成の中で男鹿半島がどのようにしてきたのか」 「一問一答のクエスチョンタイム」 フィールド研修「安田海岸」	白石建雄
	2015/10/17	初級第5回	座学「心肺蘇生・応急措置について」 「男鹿半島の災害と復興」 フィールド研修「震災復興碑・日本海中部地震津波慰霊の碑～地震塚（寒風山）～加茂青砂海岸」	男鹿地区消防署 白石建雄 夏井千津子
	2015/10/24	ガイドスキルアップ講座	座学「救急救命講習」 「地域の歴史を活かしたジオストーリー」	男鹿地区消防署 五十嵐祐介
	2015/11/8	初級第6回	座学「秋田の海に集う魚たち」 ガイド演習「入道崎～加茂青砂海岸～赤神社五社堂～潮瀬崎～館山崎～鶴ノ崎海岸」	県水産振興センター 林信太郎 坂本幸子 藤井恵美子
	2015/12/12	初級第7回	討議「平成27年度養成講座のまとめと今後の活動について」 「受講者によるバーチャルジオツアー」 「閉講式および修了証書授与式」	-
	2016/2/20～21	ガイドスキルアップ講座	ゆざわ、八峰白神、鳥海山・飛鳥地域各ガイドとの合同講座 「他ガイド団体との情報交換」 「安全管理について学ぶ」	未定

※平成27年度分は予定も含む



ガイド養成講座での現地模擬ガイド



ガイド養成講座での座学

添付資料⑤ 全ジオサイトの保全状況 1/2

No.	ジオサイト ナンバ―	ジオサイト	ジオスポッ ト ナンバ―	ジオスポット	保全状況	指定・登録			保護 保全法令	整備状況		
						文化財 指定	国定 公園	民間選定		ジオ説明板	他説明板	外国語対 応
1	A	拠点施設	1	男鹿市ジオパーク学習センター	—	—	—	—	—	○	×	○(英)
2	A		2	大潟村千拓博物館	—	—	—	—	—	○	×	○(英)
3	A		3	男鹿市内観光案内所(3か所)	—	—	—	—	—	○	×	×
4	B	砂丘列	4	天保の飢饉供養塔	◎	○(市)	—	—	市文化財保護条例	○	×	○(英)
5	B		5	船越近隣公園	●	—	—	—	—	×	×	×
6	B		6	横長根A遺跡	◎	—	—	—	文化財保護法	○	×	○(英)
7	C	旧八郎潟残存湖	7	八郎潟残存湖	●	—	—	—	—	×	○	×
8	C		8	防潮水門	●	—	—	—	—	×	×	×
9	C		9	八竜橋	◎	—	—	—	—	×	×	×
10	C		10	八龍神社と魚類供養塚	◎	○(市)	—	—	市文化財保護条例	○	×	○(英)
11	D	生鼻崎	11	生鼻崎	◎	○(国)	—	—	文化財保護法	○	×	○(英)
12	D		12	臨本城跡	◎	○(国)	—	—	文化財保護法	○	○	○(英)
13	D		13	天神様の細葉の椿	◎	○(市)	—	—	市文化財保護条例	○	○	×
14	E	寒風山	14	噴火口	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
15	E		15	板場の台	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
16	E		16	回転展望台	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
17	E		17	姫ヶ岳	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
18	E		18	鬼の隠れ里	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	○	○(英)
19	E		19	地震塚	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
20	E		20	滝の頭湧水	◎	—	○	—	自然公園法	○	○	○(英)
21	F	船川港築港	21	男鹿のまるきぶね	◎	○(国)	—	—	文化財保護法	○	×	○(英)
22	F		22	旧船川線防波堤	●	—	—	—	—	○	×	○(英)
23	F		23	船川港第一船入場・第二船入場防波堤	○	—	—	○(土木)	—	○	○	○(英)
24	G	鵜ノ崎海岸	24	鬼の洗濯板	◎	—	○	○(地質百景・奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
25	G		25	小豆岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
26	H	館山崎	26	金崎	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
27	H		27	ツバキ自生北限地帯	◎	○(国)	○	—	文化財保護法／自然公園法	○	×	○(英)
28	H		28	椿の白岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
29	H		29	グリーンタフ	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
30	H		30	ろうそく岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	×	×	×
31	H		31	牛岩	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
32	H		32	鬼の足跡	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
33	H		33	御前落としー双六館跡—	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
34	I	潮瀬崎	34	ゴジラ岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	○	○(英)
35	I		35	ゴジラの尻尾岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
36	I		36	カメ岩	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
37	I		37	ガメラ岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
38	I		38	双子岩	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
39	I		39	帆掛島	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
40	J	西海岸	40	門前海岸	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
41	J		41	竜ヶ島	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
42	J		42	門前大滝	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
43	J		43	舞台島	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
44	J		44	孔雀の窟	◎	○(県)	○	—	県文化財保護条例／自然公園法	×	×	×
45	J		45	蝙蝠の窟	◎	○(県)	○	—	県文化財保護条例／自然公園法	×	×	×
46	J		46	大棧橋	◎	—	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
47	J		47	白糸の滝	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
48	J		48	鬼の投岩	◎	—	○	—	自然公園法	×	×	×
49	K	加茂青砂	49	石仏窟	◎	○(市)	○	—	市文化財保護条例／自然公園法	×	○	○(英)
50	K		50	合川南小学校児童地震津波殉難の碑	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)
51	K		51	旧男鹿市立加茂青砂小学校校舎・屋内体操場	◎	○(国登録)	○	—	文化財保護法／自然公園法	○	×	○(英)
52	K		52	カンカネ洞	◎	—	○	—	自然公園法	○	×	○(英)

添付資料⑤ 全ジオサイトの保全状況 2/2

No.	ジオサイト ナンバー	ジオサイト	ジオスポッ ト ナンバー	ジオスポット	保全状況	指定・登録			保護 保全法令	整備状況		
						文化財 指定	国定 公園	民間選定		ジオ説明板	他説明板	外国語対 応
53	K	加茂青砂	53	天ヶ崎	◎	-	○	-	自然公園法	×	×	×
54	K		54	桜島	◎	-	○	○(奇岩百景)	自然公園法	×	×	×
55	L	金ヶ崎海岸	55	金ヶ崎海岸	◎	-	○	-	自然公園法	×	×	×
56	M	男鹿水族館GAO	56	男鹿水族館GAO	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
57	M		57	男鹿水族館前の海岸	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
58	N	男鹿目潟火山群	58	八望台	◎	-	○	-	自然公園法	○	○	○(英)
59	N		59	一ノ目潟	◎	○(国)	○	-	文化財保護法／自然公園法	○	×	○(英)
60	N		60	二ノ目潟	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
61	N		61	三ノ目潟	◎	○(県)	○	-	県文化財保護条例／自然公園法	×	×	×
62	N		62	戸賀湾	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
63	O	入道崎	63	鹿落とし	◎	-	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
64	O		64	鬼の俵ころがし	◎	-	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
65	O		65	入道崎灯台資料展示室	◎	-	○	○(灯台50選)	自然公園法	×	○	×
66	O		66	北緯40° モニュメント	◎	-	○	-	自然公園法	×	○	×
67	P	西黒沢海岸	67	西黒沢海岸	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
68	P		68	こはま海岸	◎	-	○	-	自然公園法	×	×	×
69	Q	男鹿温泉郷	69	男鹿温泉郷	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
70	Q		70	鬼の隠れ道	◎	-	○	○(奇岩百景)	自然公園法	○	×	○(英)
71	Q		71	野村海岸	△	-	-	-	-	○	×	×
72	Q		72	湯の尻海岸	◎	-	○	-	自然公園法	×	×	×
73	R	男鹿のナマハゲゆかりの地	73	なまはげ館・男鹿真山伝承館	●	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
74	R		74	本山・赤神社社 五社堂	◎	○(国)	○	-	文化財保護法／自然公園法	○	○	○(英)
75	R		75	鬼のつくった石段	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
76	R		76	真山・真山神社	●	-	○	-	自然公園法	×	×	×
77	R		77	安全寺の棚田景観	△	-	-	-	-	×	×	×
78	S	安田海岸	78	安田海岸	◎	-	○	-	自然公園法	○	×	○(英)
79	S		79	日本海中部地震津波慰霊之碑	●	-	-	-	-	×	×	×
80	S		80	震災復興碑	●	-	-	-	-	×	×	×
81	S		81	潟西台地	△	-	-	-	-	×	×	×
86	T	八郎潟干拓	82	八郎潟干拓碑	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
87	T		83	大潟神社	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
85	T		84	旧八郎潟入植指導訓練所	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
88	T		85	南の池公園	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
93	T		86	大潟富士	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
94	T		87	八郎潟河川公園	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
97	T		88	八郎潟干拓堤防最終締切地点	●	-	-	-	-	×	×	×
82	U	大潟村の自然	89	八郎潟干拓地と菜の花畑	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
83	U		90	サンルーラル大潟からの展望(男鹿半島と大潟村の集落地)	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
84	U		91	大潟モール温泉	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
89	U		92	国指定大潟草原鳥獣保護区と大潟草原野鳥観察舎	◎	-	-	-	鳥獣保護法	○	×	○(英)
91	U		93	経緯度交会点	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
92	U		94	桜並木・菜の花ロード	○	-	-	○(奇岩百景100選)	-	○	×	○(英)
90	V	干拓地の維持	95	八郎潟干拓堤防と農業用水取水設備(A1)	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
95	V		96	八郎潟干拓堤防と農業用水取水設備(E2)	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
96	V		97	八郎潟干拓堤防と農業用水取水設備(D1)	●	-	-	-	-	○	×	○(英)
98	V		98	中央幹線排水路と南部排水機場	●	-	-	-	-	×	×	×
99	V		99	1級幹線排水路と北部排水機場	●	-	-	-	-	×	×	×
100	V		100	浜口排水機場	●	-	-	-	-	×	×	×

保全状況 凡例	◎	法令・条例によって、保護されている
	●	公共・民間の重要な施設となっており、失われるおそれはほぼない
	○	民間の百選等に登録され、知名度が向上しており、失われるおそれは低い
	△	失われるおそれは低い、保護措置がとられていない

添付資料⑥ GGN・APGN・JGN の会議などへの参加状況一覧

年度	大会等	参加人数	首 長	協議会委員	事務局長・担当	ガイド
平成23年度	第2回JGN全国大会洞爺湖有珠山大会	7	○	○	○	-
平成24年度	第5回ジオパーク国際ユネスコ会議	9	○	○	○	-
	第3回JGN全国大会室戸大会	9	○	○	○	-
	第2回JGN全国研修会	2	×	×	○	-
平成25年度	日本地球惑星科学連合2013年大会	8	○	○	○	-
	第2回東北ジオパークフォーラムin磐梯山	17	○	○	○	-
	第4回JGN全国大会隠岐大会	14	○	○	○	-
	第3回JGN全国研修会	2	×	×	○	×
平成26年度	JGN通常総会・日本地球惑星科学連合2014年大会	4	○	×	○	×
	APGN共催第4回JGN全国研修会	2	×	×	○	×
	第3回東北ジオパークフォーラムinゆざわ	29	○	○	○	○
	第5回JGN全国大会南アルプス大会	15	○	○	○	○
	第5回JGN全国研修会	2	×	×	○	×
平成27年度	APGN共催第6回JGN全国研修会	1	×	×	○	×
	JGN通常総会・日本地球惑星科学連合2015年大会	4	○	×	○	×
	第7回JGN全国研修会	2	×	×	○	×
	第4回東北ジオパークフォーラムin三陸	36	×	○	○	○
	JGNガイドフォーラム	6	×	×	○	○
	第4回APGN山陰海岸シンポジウム	4	×	×	○	×
	第6回JGN全国大会霧島大会	13	○	○	○	○
合 計		186				



左：日本ジオパーク全国大会 隠岐大会

右：東北ジオパークフォーラム 三陸ジオパーク

添付資料⑦ ジオパーク間交流活動の一覧

◆ジオパーク間の交流活動一覧

年度	交流ジオパーク及び構想地域	交流内容	回数
平成24年度	東北地域のジオパーク及び構想地域	共同イベント・企画展の開催	2
平成25年度	東北地域のジオパーク・構想地域	ジオパーク実施状況報告(講師)・視察受入・意見交換	2
	秋田県内のジオパーク・栗駒山麓構想地域(当時)	共同イベント・企画展の開催	1
	秋田県内のジオパーク(H27鳥海山・飛鳥構想加盟)	秋田県ジオパーク連絡協議会設立	1
平成26年度	下北半島構想地域・銚子ジオパーク・山陰海岸ジオパーク	ジオパーク実施状況報告(講師)・視察受入・意見交換	5
	ゆざわジオパーク	認定ジオガイド検定審査員派遣	2
	秋田県のジオパーク・東北地域の構想地域	共同イベント・企画展の開催	4
	秋田県内のジオパーク	秋田県ジオパーク連絡協議会担当会議	5
	東北地域のジオパーク・構想地域	東北地域事務担当者会議	1
平成27年度	秋田県内のジオパーク・構想地域	秋田県ジオパーク専門研究統括会設立	1
	秋田県内のジオパーク・構想地域	秋田県ジオパーク研究助成事業	1
	秋田県のジオパーク・東北地域の構想地域ほか	共同イベントの開催	1
	東北地域のジオパーク・構想地域	東北地域事務担当者会議	1
	秋田県内のジオパーク・構想地域	秋田県ジオパーク連絡協議会担当会議	2
合 計			29

※他のジオパークと一緒にいったものを列挙(他地域の事業に参加、先進地への視察は集計していない)

添付資料⑧ ジオパークに関する学術論文等の新たな研究成果の一覧 1/6

1. 図書・報告書等出版物

- 秋田県教育委員会 2014 『秋田県指定有形民俗文化財 真山の万体仏—文化財収録作成調査報告書—』 秋田県文化財調査報告書代 493 集
- 泉明 2011 『年表で見る船川港のあゆみ』
- 大潟村干拓博物館編 2013 『大潟村地下の地層と貝化石 大潟村地質調査報告書』 大潟村教育委員会
- 大潟村干拓博物館編 2012 『豊かな大地の多様な生きものたち 大潟村生物調査報告書』 大潟村教育委員会
- 大潟村 2014 『大潟村史』
- 大潟村役場総務企画課編 2011 『八郎潟中央干拓地『大潟村』における農村集落の建設と村づくりの変遷』 大潟村
- 男鹿市教育委員会 2011 『男鹿市の文化財 第一七集『秋田半島新報』（昭和五年刊行分）復刻版Ⅱ』
- 男鹿市教育委員会 2011 『市内遺跡試掘・確認調査報告書』
- 男鹿市教育委員会 2012 『男鹿市の文化財 第一八集『半島新報』（昭和七年刊行分）復刻版Ⅲ』
- 男鹿市教育委員会 2012 『国指定史跡脇本城跡Ⅶ』
- 男鹿市教育委員会 2013 『国指定史跡 脇本城跡—総括報告書—』 男鹿市文化財調査報告第 40 集
- 男鹿市教育委員会 2014 『史跡脇本城跡整備基本計画書』 男鹿市文化財調査報告第 43 集
- 男鹿市教育委員会 2014 『市内遺跡試掘・確認調査報告書Ⅱ』
- 男鹿市教育委員会 2015 『市内遺跡試掘・確認調査報告書Ⅲ』
- 男鹿市教育委員会 2015 『史跡脇本城跡保存整備工事報告書Ⅲ』
- 海山徳宏 2014 『大潟村の人びと —「大潟村通信」から—』 秋田ふるさと育英会
- 宮崎隆典 2014 『汝の食物を医薬とせよ - “世紀の干拓” 大潟村で実現した理想のコメ作り』 藤原書店
- 宮田正尙 2013 『ゼロからの自治—大潟村の軌跡と村長・宮田正尙』 公人社

2. 論文・報告等**(1) 地質・古生物・古環境**

- 鏡敏春 2012 「八郎潟の遭難事故と気象条件」『秋田地学』67
- 岩崎敬二・福田 宏 2011 「秋田県男鹿市で発見された外来二枚貝類コウロエンカワヒバリガイ（イガイ科）の死殻」『Molluscan diversity』3(1)
- 男鹿市教育委員会 2013 『一ノ目潟の年編が語る地球の歴史と男鹿の未来』
- 鹿野和彦、谷健一郎、岩野英樹、檀原徹、石塚治、大口健志、Daniel J. Dunkley 2012 「東北日本男鹿半島 赤島層の放射年代」『地質学雑誌』118(6)
- 佐藤時幸・佐藤伸明・山崎誠・小川由梨子・金子光好 2012 「石灰質ナンノ化石からみた秋田地域の新第三紀末～第四紀古環境変動」『地質学雑誌』118(2)
- 品川道夫 2010 「安田海岸におけるシーケンス層序学的な地層観察学習」『秋田地学』64
- 品川道夫 2010 「男鹿地域に分布する段丘の形成と年代の考察（発表要旨）」『秋田地学』64
- 品川道夫 2013 「生痕化石から見た安田砂部層の古水深（発表要旨）」『秋田地学』69
- 品川道夫 2014 「安田海岸における五里合層と琴川層に対比される海成段丘（発表要旨）」『秋田地学』70
- 品川道夫・秋田第四紀研究グループ 2012 「五里合層の層相と層序区分（発表要旨）」『秋田地学』67
- 篠塚良嗣・山田和芳 2015 「年編による縄文時代における気候変動」『津軽海峡圏の縄文文化』雄山閣
- 白石建雄 2014 「八郎潟の生い立ち」『大潟村史』【再掲】
- 高橋恒大 2012 「秋田県内小規模風穴の研究～寒風山風穴と猿穴風穴～（発表要旨）」『秋田地学』67
- 独立行政法人海洋研究開発機構 2012 「一ノ目潟の湖底から気候変動を追う」『Blue Earth』119

添付資料⑧ ジオパークに関する学術論文等の新たな研究成果の一覧 2/6

- 原口強 2013「東日本大震災から学ぶ男鹿の防災」『一ノ目潟の年縞が語る、地球の歴史と男鹿の未来』
- 藤本幸雄 2013「秋田県内の黒曜石 その1（発表要旨）」『秋田地学』69
- 藤本幸雄 2014「男鹿半島南岸脇本地域における鮎川層の礫種組成と黒曜石の起源について」『秋田地学』70
- 藤本幸雄 2014「鮎川層と黒曜石について（発表要旨）」『秋田地学』70
- 山田和芳 2013「一ノ目潟 2013 掘削調査成果報告（速報）」『一ノ目潟の年縞が語る、地球の歴史と男鹿の未来』
- 山田和芳ほか 2014「年縞編年学の進歩」『号外地球』63
- 山本和美・鈴木秀一 2010「企画展「天然記念物 目潟」の展示について」『秋田地学』64
- 米延仁志 2013「一ノ目潟の年縞からわかる男鹿の歴史」『一ノ目潟の年縞が語る、地球の歴史と男鹿の未来』
- 渡部晟 2010「男鹿半島の更新統産マメウラシマ属（発表要旨）」『秋田地学』64、p35、2010
- 渡部晟 2010「ビノスガイ属（二枚貝綱：マルスダレガイ科）の殻体内部に見られる放射助様の構造」『秋田地学』65
- 渡部晟 2010「激しく浸食された安田海岸の砂浜」『秋田地学』65
- 渡部晟 2012「小さな化石をステレオ写真で観察する」『秋田地学』67
- 渡部晟 2012「貝化石から見た潟西層安田砂部層の堆積深度（発表要旨）」『秋田地学』67
- 渡部晟 2012「ジオ観察会における写真やイラストの活用（発表要旨）」『秋田地学』67
- 渡部晟 2012「潟西層産マメウラシマ属 2 種の成長に伴う形態変化」『秋田地学』68
- 渡部晟 2012「男鹿半島の潟西層産マメウラシマの螺溝の変異」『秋田自然史研究』62
- 渡部晟 2013「八郎潟層の剥ぎ取り標本（発表要旨）」『秋田地学』69
- 渡部晟 2014「八郎潟層の軟体動物化石から推定される完新世最温暖期の海水温」『秋田自然史研究』64
- 渡部晟 2014「秋田県大潟村の完新統八郎潟層から得られたシャミセンガイ属（腕足動物、シャミセンガイ科）」『秋田自然史研究』65
- 渡部晟 2014「潟西層産および八郎潟層産クシケマスオガイ」『秋田自然史研究』66
- 渡部晟 2014「ゴジラ岩（秋田県男鹿半島潮瀬崎）はどのようにしてゴジラの形になったのか」『秋田地学』70
- 渡部晟 2014「完新世最温暖期の海水温—大潟村産貝化石群集からの推定—（発表要旨）」『秋田地学』70
- 渡部晟 2015「小豆岩（秋田県男鹿半島鶴ノ崎）はなぜ丸いのか」『秋田地学』71

(2) 自然

- 石井照久・大澤佳奈・羽田麻里子 2014「秋田県八郎潟に生息する 2 種の淡水産単体ヒドラ（チクビヒドラとヤマトヒドラ）について」『秋田大学教育文化学部研究紀要・自然科学』69
- 大江文雄・渡部晟・鈴木秀一 2011「秋田県男鹿半島中部更新統鮎川層産マダラ *Gadus macrocephalus* の耳石とその系統発生的背景」『秋田県立博物館研究報告』(36)
- 尾崎保夫・吉川進太郎・飯舘千春・林紀夫 2013「埋土種子を用いた沈水植物再生に及ぼす濁度と光量子の影響」『秋田自然史研究』63
- 河合秀樹 2014「男鹿半島におけるシナカミキリの大発生」『秋田自然史研究』65
- 菊地卓 2014「秋田県大潟村の植物点描 (1)」『秋田自然史研究』65
- 菊地卓 2014「秋田県大潟村の植物点描 (2)」『秋田自然史研究』66
- 栗山知士 2012「大潟地域の気候景観をジオパークに」『秋田地学』68
- 栗山知士 2013「大潟地域の気候景観をジオパークに（発表要旨）」『秋田地学』69
- 佐藤福男 2013「ツマグロヒョウモンを寒風山で採集」『秋田自然史研究』64
- 佐藤福男 2014「男鹿半島にタグチホソヒラタハムシ産す」『秋田自然史研究』65
- 佐藤福男 2014「男鹿半島にテングチョウ多産」『秋田自然史研究』66
- 猿田基 2014「秋田県の淡水貝類の分布と外来種 2 種の定着状況」『秋田自然史研究』65

添付資料⑧ ジオパークに関する学術論文等の新たな研究成果の一覧 3/6

- 高木憲太郎・時田賢一・平岡恵美子ほか 2014「八郎潟で越冬するミヤマガラスの渡り経路と繁殖地」『Japanese journal of ornithology』63(2)
- 高田順・岡野邦宏・尾崎保夫 2012「秋田県大潟村産イトクズモ *Zannichelliapalustris* L. の形態」『水草研究会誌』(98)
- 高田順・岡野邦宏・尾崎保夫 2013「秋田県大潟村産イトクズモ *Zannichelliapalustris* L. の生態と生活史」『水草研究会誌』(99)
- 高橋一郎・堤朗 2014「大潟村の自然」『大潟村史』【再掲】
- 田中政行・大倉慎 2011「寒風山で採集したトビケラ類成虫」『秋田自然史研究』60
- 林紀夫・岡野邦宏・尾崎保夫 2013「八郎湖における浮遊性藍藻類アオコの多様性」『秋田自然史研究』63
- 林紀夫・尾崎保夫 2011「ヨシ原に設置した植栽水質浄化施設の水生動物相」『秋田自然史研究』59
- 林紀夫・加藤理・岡野邦宏・尾崎保夫 2014「八郎潟に優占化した浮遊性藍藻アファニゾメノン」『秋田自然史研究』66
- 渡部晟 2011「ヒメシラトリ（二枚貝類：ニッコウガイ科）の套線湾入の変異」『秋田自然史研究』60、

(3) 教育

- 薄井伯征 2011「地方の公立博物館と地域社会の活性化（特集 生涯学習推進に対する社会の要請にいかに応えるか）」『日本生涯教育学会年報』(32)
- 薄井伯征 2011「地方の公立博物館の設立と事業展開に関する一考察 - 秋田県大潟村における事例から -」『秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要』33
- 薄井伯征 2012「婦人会による地域的課題の把握と解決行動に関する一考察：秋田県大潟村における事例から」『日本生涯教育学会論集』33
- 薄井伯征 2012「博物館による地域活性化への挑戦：秋田県大潟村における実践から」『日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要』(16)
- 薄井伯征 2013「公立博物館の政策的位置づけに関する一考察」『日本生涯教育学会論集』34
- 薄井伯征 2014「公立博物館の政策的位置づけと地域社会における役割に関する研究」『日本生涯教育学会論集』35
- 川村教一 2012「ジオパークで地層を観察した小学生および中学生の化石採集の関心の変化について：男鹿半島・大潟ジオパークを例として」『日本理科教育学会東北支部第 51 回大会発表論文集』
- 川村教一 2013「小学校教員養成課程学生に対する地層観察指導の成果と課題：男鹿半島・大潟ジオパークを例として」『日本理科教育学会第 63 回全国大会発表論文集』
- 川村教一 2013「教員研修における地層観察指導の成果と課題：男鹿半島・大潟ジオパーク安田海岸ジオサイトにおける実践例」『日本地学教育学会第 67 回全国大会大阪大会講演予稿集』
- 川村教一 2013「地層観察研修前後の教員による地層スケッチの変化について：男鹿半島・大潟ジオパーク安田海岸ジオサイトにおける実践から」『日本理科教育学会東北支部第 52 回研究大会発表論文集』
- 川村教一 2014「大学教養科目としてのジオパーク学入門の実践」『日本地質学会第 121 年学術大会講演要旨』
- 川村教一 2014「ジオサイトにおける野外実習を通じた大学生の地層学習観の変化：男鹿半島・大潟ジオパークにおける小学校理科指導法実習の例」『秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要』36
- 松井春菜 2013「2012 年度男鹿巡見の地学教育的効果」『秋田地学』69

(4) 地理

- 栗山知士 2013「ジオパークを歩く（第 19 回）男鹿半島・大潟ジオパーク：風光明媚な自然には、人間が作り出した文化景観が」『地理』58(1)
- 栗山知士 2014「自然地理学の立場からみた男鹿半島・大潟ジオパークの見所（発表要旨）」『秋田地学』70

添付資料⑧ ジオパークに関する学術論文等の新たな研究成果の一覧 4/6

(5) 歴史・民俗・考古学

- 天野荘平 2012「幻だった「をがさべり」の初出発見について」『全国菅江真澄研究集会男鹿大会』
- 五十嵐祐介 2012「地域の遺跡を地域で活かす試み～男鹿市文化財シンポジウムの開催と官学連携～」『明治大学古代学研究所紀要』17 明治大学古代学研究所
- 五十嵐祐介 2013「遺跡からみた自然災害：男鹿市大畑遺跡の地割れ」『秋田考古学』57
- 五十嵐祐介 2013「秋田安東氏の城館一脇本城跡」『第2回南部学研究会—中世南部氏と北日本の中世城館』南部町教育委員会
- 五十嵐祐介 2014「二つの安東」を統合した脇本城」『安東氏シンポジウム よみがえる湊安東の世界と「二つの安東」』資料集
- 五十嵐祐介 2016「地域の歴史と地球の歴史を結ぶ—男鹿半島・大潟ジオパークにおける文化財を活用したストーリー試論」『出羽路』156（寄稿済、刊行予定）
- 石井正己 2012「をがさべり—菅江真澄・柳田国男と男鹿観光」『全国菅江真澄研究集会男鹿大会』
- 石井正己 2013「日本の中のナマハゲ 世界の中のナマハゲ」『みんなでつなぐナマハゲ文化』男鹿市教育委員会
- 石川日出志 2012「弥生時代中期の男鹿半島と新潟平野の遺跡群」『明治大学古代学研究所紀要』17 明治大学古代学研究所
- 石垣悟 2014「文化財保護の視点から（無形の）民俗文化財を考える」『ユネスコ無形文化遺産壬生の花田植』吉川弘文館
- 石垣悟 2014「男鹿のナマハゲと日本、世界」『第29回国民文化祭・あきた2014 全国ナマハゲの祭典』
- 伊藤直子 2014「安東氏の城の整備 史跡 脇本城跡」『史跡「脇本城跡」国指定10周年記念記念事業 東北地方戦国猛者の居城～城の整備と脇本城のみらい～』男鹿市教育委員会
- 伊藤直子 2015「男鹿のナマハゲの保存と活用」『月刊文化財』621 第一法規株式会社
- 今石みぎわ 2012「菅江真澄と旅—旅する巨人・宮本常一の視点から」『全国菅江真澄研究集会男鹿大会』
- 薄井伯征 2014「八郎潟干拓に至るまでの経緯」『大潟村史』大潟村【再掲】
- 薄井伯征 2014「八郎潟干拓事業の全貌」『大潟村史』大潟村【再掲】
- 大越昇 2012「男鹿の稲作、今・昔」『明治大学古代学研究所紀要』17 明治大学古代学研究所
- 鎌田幸男 2013「男鹿地域の伝統的なナマハゲ行事を探る」『みんなでつなぐナマハゲ文化』男鹿市教育委員会
- 児玉準 2012「秋田の米づくりのはじまりを追う」『明治大学古代学研究所紀要』17 明治大学古代学研究所
- 近藤清兄 2011「秋田県男鹿方言の動詞連用形について」『聖霊女子短期大学紀要』39
- 近藤清兄 2012「秋田県男鹿方言動詞の命令形・仮定形について」『聖霊女子短期大学紀要』40
- 近藤清兄 2013「秋田県男鹿方言のノダ文について」『聖霊女子短期大学紀要』41
- 近藤清兄 2014「秋田県男鹿方言の疑問音調について」『聖霊女子短期大学紀要』42
- 佐藤晃之輔 2014「八郎潟を中心とした人々の暮らし」『大潟村史』【再掲】
- 佐藤晃之輔 2014「あの日何があったか」農政との対応をめぐる」『大潟村史』【再掲】
- 高瀬克範 2012「男鹿半島・八郎潟周辺における縄文時代晩期および弥生時代の占地特性」『明治大学古代学研究所紀要』17 明治大学古代学研究所
- 高橋学・五十嵐祐介・山本崇 2012「秋田・小谷地遺跡」『木簡研究』34 木簡学会
- 武内信彦 2012「怠け者はいねが～「男鹿のナマハゲ」」『石油技術協会誌』77（4）
- 寺崎裕助 2011「縄文時代における移動・移住の一事業：新潟県糸魚川市六反田南遺跡と秋田県男鹿市大畑遺跡の事例から」『新潟県立歴史博物館研究紀要』12
- 永井登志樹 2013「菅江真澄と秋田のジオパーク」『真澄研究』17号 秋田県立博物館
- 半田和彦 2013「男鹿の鹿狩り」『出羽路』152
- 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業実行委員会 2013『重要無形民俗文化財 男鹿のナマハゲ』
- 松山修 2012「真澄遊覧記と男鹿観光を考える～二つの書の出版意義を通して」『全国菅江真澄研究集会男鹿大会』
- 吉川 耕太郎 2014「東北 男鹿」『季刊考古学』126

添付資料⑧ ジオパークに関する学術論文等の新たな研究成果の一覧 5/6

渡部鮎美 2011 「機械化転換期における稲作技術の多様化とリスク -- 秋田県大潟村を事例に (日本歴史における水田環境の存在意義に関する総合的研究) -- (“文化”としての水田)」『国立歴史民俗博物館研究報告』162

Yusuke IGARASHI 2013 「Engagements for the Preservation, Transmission, and Display of the important Intangible Folk Cultural Property, 'Oga no Namahage」『2013 Study Tour Report』IRCI and UNESCO Office in Jakarta

(6) 農業・環境

小林由喜也 2014 「村創立 50 年を迎える干拓地大潟村の農地, 営農, 機械の現状 次の 50 年へ新たな挑戦のスタート」『機械化農業』3162

小林由喜也 2014 「大潟村農業と機械の変遷」『大潟村史』大潟村【再掲】

佐藤孝・善本さゆり・中村結・佐藤恵美子・高階史章・渋谷岳・横山正・金田 吉弘 2011 「重粘土水田転換畑におけるマメ科緑肥植物へアリーベッチ植栽が後作ダイズの生育・収量に及ぼす影響」『日本土壌肥科学雑誌』82(2)

佐藤了 2014 「大潟村農業の誕生と営農展開」『大潟村史』大潟村【再掲】

長濱健一郎 2011 「秋田県大潟村における戸別所得補償制度導入の意義と課題」『レファレンス』61(10)、

長濱健一郎 2012 「戸別所得補償制度開始と農業者の対応: 秋田県大潟村を事例にして」『農村と都市をむすぶ』62(3)

原田久富美、進藤勇人、伊藤千春、小林ひとみ、渋谷岳 2011 「無代かき及び有機質資材の施用が水田からの水質汚濁負荷に及ぼす影響」『日本土壌肥科学雑誌』82(2)

藤川浄之 2014 「接点―農、農政、人、むら」『大潟村史』大潟村【再掲】

宮元均 2014 「八郎潟干拓から日本の農地と大規模農業の将来を考える」『JAGREE information』(88)

(7) 地域活性化・経済

白石建雄 2014 「地域づくり・ジオパークの可能性: 男鹿半島・大潟ジオパークを例として」『日本の科学者』49(4)

増田寛也・樋口美雄 2014 「対談 秋田・大潟村、福井・鯖江市、石川・川北町……成功例はここが違う 消滅市町村にならないための 6 のモデル」『中央公論』129(8)

(8) その他

薄井伯征 2012 「八郎潟干拓と日本の米づくり」『大塚薬報』10 月号 大塚ホールディングス株式会社

水田敏彦・鏡味洋史 2011 「1939.5.1 男鹿地震の秋田県における震災対応に関する文献調査」『日本建築学会技術報告集』17 (36)

渡部晟 「男鹿半島女川層の褶曲」2012 『日本の地質構造 100 選』日本地質学会構造地質部会編

3. 学会・大会等発表 (事務局員が行ったもの)

(1) 学会発表 (国際会議を含む)

薄井伯征 2011 「秋田県大潟村における市民活動と生涯学習」第 32 回日本生涯教育学会大会

薄井伯征 2012 「地方の公立博物館の行財政と管理運営に関する一考察」第 33 回日本生涯教育学会大会

薄井伯征 2013 「公立博物館の政策的位置づけに関する研究」第 34 回日本生涯教育学会大会

Noriyuki USUI, Hirokazu TAKEUCHI, Tomoya SHINDO 2012 「Activities of Guides in Oga Peninsula - Oyata Geopark -Current Status and Future Direction-」5th International UNESCO Conference on Geoparks in Unzen Volcanic Area Global Geopark

Hirokazu TAKEUCHI, Noriyuki USUI, Tateshi SHIRAIISHI 2012 「The Oga Peninsula-Oyata Geopark: Human Living on Shifting Ground」5th International UNESCO Conference on Geoparks in Unzen Volcanic Area Global Geopark

添付資料⑧ ジオパークに関する学術論文等の新たな研究成果の一覧 6/6

(2) ジオパーク大会等発表

- 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2011「男鹿半島・大潟ジオパーク構想」第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会
- 竹内弘和・薄井伯征・白石建雄 2012「変動する大地での人々の暮らし」第5回ジオパーク国際ユネスコ会議、男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2012「東北ジオパークフォーラム ジオの営みと上手に付き合うために～ジオでつながる人づくり・地域づくり～」第3回日本ジオパーク全国大会室戸大会
- 長谷川秀明・工藤恒博・佐々木鶴代・薄井伯征 2012「干拓地の恵みを活用した特産品開発」第3回日本ジオパーク全国大会室戸大会
- 渡部晟・進藤智哉・薄井伯征 2012「八郎潟の地層について」第3回日本ジオパーク全国大会室戸大会
- 進藤智哉・堤朗 2012「八郎潟干拓地に確立した生態系における動物相」第3回日本ジオパーク全国大会室戸大会
- 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2013「日本海の成り立ちを学べる男鹿半島と、日本最大の干拓地、大潟村。」日本地球惑星科学連合大会 2013 年大会、
- 進藤智哉・渡部晟・薄井伯征 2013「露頭のないジオパークに露頭をつくる ―八郎潟層の剥ぎ取り標本の作成と展示―」日本地球惑星科学連合大会 2013 年大会
- 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2013「日本海の成り立ちを学べる男鹿半島と、日本最大の干拓地、大潟村。」第4回日本ジオパーク全国大会隠岐大会
- 進藤智哉・薄井伯征 2013「豊かな大地の多様な生きものたち」第4回日本ジオパーク全国大会隠岐大会、
- 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2014「「地質見学会」から「ジオツアー」への進化～男鹿半島・大潟ジオパークの試み～」日本地球惑星科学連合大会 2014 年大会
- 五十嵐祐介・菊池光和・小山田智子 2014「五感で楽しむ「男鹿市ジオパーク学習センター」―地質学的ジオサイトと人の歴史や文化の交流点―」日本地球惑星科学連合大会 2014 年大会
- 渡部公成・畠山喜美・薄井伯征 2014「重要課題へ挑む～男鹿半島・大潟ジオパークの質の向上を目指して～」第5回日本ジオパーク全国大会南アルプス大会
- 薄井伯征・五十嵐祐介・渡部公成・進藤智哉・沼倉誠・畑山良栄・神垣恭彦 2014「秋田県ジオパーク連絡協議会の設立と取り組み」第5回日本ジオパーク全国大会南アルプス大会

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —総合案内板 1/3—

■ 半島と干拓が育む
人と大地の物語

お が はん と う お お が た

男鹿半島・大潟ジオパーク

Oga Peninsula - Ogata Geopark



0-63 入道地龍窟とし



ジオサイト・ジオスポット一覧

番号	名称	所在地	特徴
0-63	入道地龍窟とし	男鹿市	入道地龍窟としの自然環境
1-64	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
2-65	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
3-66	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
4-67	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
5-68	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
6-69	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
7-70	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
8-71	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
9-72	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
10-73	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
11-74	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
12-75	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
13-76	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
14-77	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
15-78	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
16-79	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
17-80	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
18-81	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
19-82	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
20-83	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
21-84	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
22-85	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
23-86	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
24-87	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
25-88	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
26-89	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
27-90	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
28-91	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
29-92	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
30-93	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
31-94	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
32-95	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
33-96	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
34-97	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
35-98	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
36-99	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
37-100	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
38-101	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
39-102	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
40-103	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
41-104	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
42-105	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
43-106	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
44-107	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
45-108	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
46-109	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
47-110	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
48-111	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
49-112	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
50-113	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
51-114	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
52-115	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
53-116	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
54-117	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
55-118	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
56-119	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
57-120	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
58-121	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
59-122	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
60-123	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
61-124	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
62-125	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
63-126	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
64-127	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
65-128	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
66-129	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
67-130	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
68-131	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
69-132	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
70-133	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
71-134	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
72-135	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
73-136	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
74-137	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
75-138	大潟村	大潟村	大潟村の自然環境
76-139	大潟村	大潟村</	

■ここは日本一の干拓地です。
This is the biggest tract of reclaimed land in Japan.

大潟村のご案内

Guide to Ogata Village

●大潟村干拓博物館 / Tel.0185(24)2113

Pulver Museum of Ogata Village

八郎潟の土地と干拓事業、大潟村の歴史や豊かな自然などについて、映像やジオラマ、模型等で紹介しています。様々な企画展も実施しています。
Through images, dioramas, and model exhibits, the museum displays the origin of Hachirogata Lagoon and its reclamation project and the history of Ogata Village and its rich nature. Various other exhibits are also available.

●八郎潟干拓碑

Hachirogata Reclamation Memorial Monument

昭和39年9月15日 八郎潟の干拓と大潟村の発足を祝う干拓式が行われました。

On September 15, 1964, the "Land Draining Ceremony," celebrating the draining of Hachirogata Lagoon and the establishment of Ogata Village, was held here.

●大潟富士

Mt. Ogata Fuji

富士山の1/1000の高さ(3,767m)で、山頂の標高は10mです。かつての八郎潟の姿を体験できます。山頂からは広大な干拓地の風景を一望できます。

The height of Mt. Ogata Fuji is 1/1000 of the real Mt. Fuji (3,776 m) and exactly 10 m above sea level. From here, you can understand the vast depth that was Hachirogata Lagoon. From the top of the mountain, you can view the unique scenery of the massive reclaimed land.

●地球交差点

The Longitude-Latitude Crossing Point (89° E and 148° E Crossing Point)

東経89度、北緯148度の交差点がここであり、日本の陸上において10層単位で交わるのはここだけであり、干拓で誕生した「地球の十字路」です。

This is the confluence point of 40 degrees north latitude and 148 degrees east longitude. This is the only place in Japan where a meridian of longitude and parallel of latitude, both whole numbers with no decimal places, intersect. It is the "Earth's Crossroads," developed due to reclamation.

●大潟草原野鳥観察会

Ogata-gezen Bird Observatory

大潟村は野鳥の宝庫です。総合中心地西部の国指定大潟草原鳥獣保護区には野鳥観察舎が設けられており、自由に観察ができます。

Ogata Village is a paradise for wild birds. The Wildlife Protection Area (Ogata-gezen), located in the west side of the residential area, has the Ogata-gezen Bird Observatory. You can freely engage in bird-watching.

秋田県大潟村は、八郎潟を干拓し、その湖底に誕生した村です。見どころがたくさんあります。ぜひ干拓地ならではの美しい景観をご覧になり、八郎潟干拓と大潟村の成り立ちに触れてみて下さい。安全でおいしい農産物と、心も体も温まる大潟モーターランド温泉も自慢です。

総合中心地案内図
Ogata Village Comprehensive Map

◆大潟村役場 / Tel.0185(45)2111(代表) 大潟村観光センター
Ogata Village Office Ogata Village Tour Center

男鹿半島・大潟ジオパーク
Oga Peninsula-Ogata Geopark

Upon the reclamation of Hachirogata Lagoon, Ogata Village in Akita Prefecture was established on the reclaimed land in the lagoon. There are many tourist attractions in Ogata Village. Please visit the unique, beautiful landscape of the reclaimed land, and learn about the reclamation of Hachirogata Lagoon and the origin of Ogata Village. You can sample our delicious locally grown farm products in addition to pampering yourself with the heart-and-body warming effects of the Ogata Moor Hot Spring.

[illegible]

■これは日本の千沼地です。
This is the biggest tract of reclaimed land in Japan.

大潟村のご案内

Guide to Ogata Village

秋田県大潟村は、八郎潟を干拓し、その湖底に誕生した村です。見どころがとさんあります。ぜひ干拓地ならではの美しい景観をご覧になり、八郎潟干拓と大潟村の成り立ちに触れてみて下さい。安全でおいしい農産物と、心も体も温まる大潟モール温泉も自慢です。

Upon the reclamation of Hachirogata Lagoon, Ogata Village in Akita Prefecture was established on the reclaimed land in the lagoon. There are many tourist attractions in Ogata Village. Please visit the unique, beautiful landscape of the reclaimed land, and learn about the reclamation of Hachirogata Lagoon and the origin of Ogata Village. You can sample our delicious locally grown farm produce in addition to pampering yourself with the heart-and-body warming effects of the Ogata Moor Hot Spring.

●南の池公園
South Pond Park (Mizusaki Park)
八郎潟干拓工事の完成を記念し設置されました。干拓工事のモニュメントや八郎潟を題材にした、春は桜やツツジが咲きます。キャンプもできます。

This park was developed for commemorating the completion of the Hachirogata reclamation project. There are many monuments and a settlement memorial. Scenarishio cherry blossoms and rosebay lilies in spring. You can also enjoy camping here.

●大潟村千沼博物館 / Tel.0185(22)4113
Former Museum "Kusano no Mori"
八郎潟の生きたもと千沼草、大潟村の歴史や豊かな自然などについて、炭谷やシロアサ、標本等で紹介しています。様々な企画展も実施しています。

Through images, dioramas, and zoological specimens, the museum displays the origin of Hachirogata Lagoon and its reclamation project and the history of Ogata Village and its rich nature. Various other exhibits are also available.

●炭谷センター商店 / Tel.0185(22)4141
Former "Kusano no Mori"
安全でおいしい大潟村の農産物ととさん産品です。大潟産の食材を使ったスイーツや軽食のメニューも展開しています。Safe and delicious local farm products are displayed. They also have sweets and light snacks made of local ingredients.

●八郎潟干拓碑
Hachirogata Reclamation Memorial Museum
昭和39年9月15日、八郎潟の干拓と大潟村の発足をお祝いするために建てられました。
On September 15, 1964, the "Land Draining Ceremony," celebrating land draining of Hachirogata and establishment of Ogata Village, was held here.

総合中心地区案内

大潟村案内図

●大潟村役場 / Tel.0185(45)2111
Ogata Village Office

●大潟富士
Mt.Ogata Fuji
富士山の1/1000の高さ(3.776m)で、山頂の標高は40mです。すべつづの1郎の湖のさそを来れます。山頂からは大八郎潟の雄姿を一顧にできます。
The height of Mt. Ogata Fuji is 1/1000 of the real Mt. Fuji (3.776m) and exactly 0.1m above sea level from here. You can overlook the vast depth that was Hachirogata Lagoon. From the top of the mountain, you can also view the unique scenery of the moose reclamation land.

●経緯度交点
The Longitude-Latitude Crossing Point (40° N and 140° E Crossing Point)
北緯40度、東経140度が交わる地点です。日本の陸上において10級車道で定められたものにはこれだけであり、干拓によって「地球の十字路」です。
This is the confluence point of 40 degrees north latitude and 140 degrees east longitude. This is the only place in Japan where a nodation of longitude and parallel of latitude, both numbers with no decimal places, intersect. It is the "Earth's Crossroads," developed due to reclamation.

●大潟村鳥野鳥観察舎
Ogata-village Bird Observatory
大潟村は野鳥の楽園です。観音寺の境内の国指定「大潟村鳥野鳥観察舎」には野鳥観察舎が設けられており、自由に観察ができます。
Ogata Village is a paradise for birds. There are meeting rooms and a room for cooling practice. There is also a library, which has substantial books related to Ogata Village.

[illegible]

■ 砂丘に営まれた弥生時代の遺跡

Yokonagane A site



■出土した炭化米

例題半題・大問2はパー・オム・ムページ
Oga Festival Oga Onsen Park Official Website

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 2/28—

■ 漁業の神と魚への供養

旧八郎潟残存遊憩サイト Relict site of former Hachiryu Lagoon (Sakata)

は ち り ゅ う じ ゚ じ ゅ う き ゃ う づ か

八龍神社と魚類供養塚

(平成17年3月14日指定)

Hachiryu Shrine and Memorial Stone of Thanks to Fish

男鹿半島・大潟ジオパーク
Oga Peninsula & Oga Lake Geopark

男鹿半島・大潟ジオパーク
Oga Peninsula & Oga Lake Geopark

八郎潟漁業者の信仰があつた八龍神社は、かつて八郎潟に突き出た妙州になっていました。千祐前の八郎潟では漁業が盛んで、漁業者が八龍神に豊漁を感謝し、魚の霊を鎮めるために石碑を建てました。最も古い「湖鯉供養塚」は文久元(1861)年に建てられています。また船越の漁業者や政治家が八龍神への感謝として、護岸用の石を奉納して石碑を建てています。これらの石碑は、八龍神に対する信仰心を表す貴重な民俗資料として市の指定文化財になっています。

Generated by local fishermen, Hachiryu Shrine was once a sandbar that jutted out into Hachirogata Lagoon. Before the land reclamation in this area, Hachirogata Lagoon had a booming fishing industry. The local fishermen gave thanks to the god Hachiryu for their good catches and erected stone monuments to appease the ghosts of the fish they caught. The oldest of these, the Memorial Stone of Thanks to Lake Mullet, was built in 1861. In addition, the fishermen and local officials of Furukoshi built a stone monument as a stone of protection for the shore in gratitude to Hachiryu. Designated as cultural resources by the city, these monuments are important in preserving the local folklore and worship of Hachiryu.

有形民俗文化財(市指定)

City Tangible Folk Cultural Properties



八龍神社境内に建立されている男鹿市指定文化財の石碑

男鹿半島・大潟ジオパーク案内図

Oga Peninsula & Oga Lake Geopark Map





八龍神社と供養塚

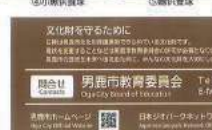
魚類供養塚



①湖鯉供養塚



②若鷺(湖)料養塚



③小魚供養塚



④小魚供養塚

⑤湖鯉供養塚

男鹿半島・大潟ジオパークの成り立ち



文化財を守るために

この石碑は男鹿市指定文化財として大切に守られています。石碑が壊れたり盗まれたりすると、地域の歴史や文化が失われる可能性があります。石碑が壊れたり盗まれたりしたら、市教育委員会に連絡してください。

男鹿市教育委員会

Oga City Education Committee

Tel: 018024-9102 E-Mail: oya@city.oga.akita.jp

男鹿半島・大潟ジオパークの成り立ち



文化財を守るために

この石碑は男鹿市指定文化財として大切に守られています。石碑が壊れたり盗まれたりすると、地域の歴史や文化が失われる可能性があります。石碑が壊れたり盗まれたりしたら、市教育委員会に連絡してください。

男鹿市教育委員会

Oga City Education Committee

Tel: 018024-9102 E-Mail: oya@city.oga.akita.jp

地震発生時の 事前・避難してください

この危険な海 1m

shiraga@shiraga.com

■ 地層の堆積がくっきり見える大露頭

生 鼻 崎

Cape Oibnazaki

生鼻崎ジオサイト Cape Oibnazaki Site

30km近く離れた秋田市からも見える巨大な露頭で、過去には小学校の理科の教科書でも紹介されていました。東に30°ほど傾いて泥の層(色の薄い層)と砂の層(色の濃い層)が交互に重なっています。このような地層の堆積はやや深い海に堆積していた泥の上に、浅い所に堆積した砂が流されてきて堆積することを繰り返してできました。その後隆起によって陸地化し、現在は標高100mほどの高さになっています。この高さを利用して、戦国時代には駿本城(史跡)が築かれました。

生鼻崎の上の駿本城跡内陸部(中央に置かれているのは白鶴駅)

This giant outcropping can be seen from Akita City almost 30km away, and has even appeared in elementary school science textbooks. Leaning 30° to the east, it is formed of layers of mud (light colored areas) and sand (dark colored areas). These layers were formed through a cycle of mud accumulating in deeper water, followed by sand accumulating in shallower water. It later rose out of the water, becoming land, and now stands about 100m tall. When Wakimoto Castle was built during the Warring States Period (approx. 1467-1590 CE), it made good use of this cliff's height.

崖から見た生鼻崎

層層の堆積の仕組み

指定 名称: 駿本城跡
指定年月日: 平成16年9月30日
指定 種別: 史跡・名勝・天然記念物

史跡(国指定)

National Historic Sites

駿本城跡が望める様子

男鹿半島・大湯ジオパーク案内図

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 3/28—

■ 安東氏による秋田支配の拠点的山城
■ 菅江真澄も記録を残す樹の古木

生鼻跡ジオサイト Oga Onsenaki Geosite

脇本城跡・天神様の細葉の椿

(平成16年9月30日指定) Ruins of Wakimoto Castle・Tenjinsama no Hosoba no Old Camellia (平成9年4月11日指定)

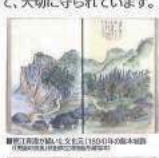
男鹿半島・大湯ジオパーク
Oga Peninsula-Oga Onsen Geopark

GEOPARK JAPAN

戦国時代に秋田地域を支配していた安東氏の拠点的山城として、国の史跡に指定されています。生鼻跡は、海上交通の要所(日本海・八郎潟)、陸上交通の要所(天下道)であり、標高も100m前後あることなどから、城づくりには最適な場所でした。

また、江戸時代には紀行家の菅江真澄も訪れ、図録を残すとともに、城跡内に群居する菅原神社の細葉の椿の古木について記録を残しています。これらは地域の貴重な文化財として、大切に守られています。

Used as a base by the Ando Clan, who controlled the Akita region during the Warring States Period, this castle has been designated a historical landmark by the government. With a height of 100m and strategic location for both sea travel (Sea of Japan and Hachirogata Lagoon) and land travel (Tengamichi), Cape Ohsanazaki was the perfect place to build a castle. During the Edo Period, it was visited by travel writer Masumi Sugawara, whose drawings and record of the old camellia tree in Sugawara Shrine still remain. These are carefully preserved as an important part of the area's cultural heritage.








戦国時代から江戸時代

約90分
自然や景観を守るために
自然や文化財を守るために
自然や文化財を守るために

男鹿市教育委員会
Tel: 0185-24-9103
E-Mail: oga@city.oga.akita.jp

■ 寒風山は火山だった

寒風山ジオサイト Mt. Kanpuzan Geosite

噴火口

Craters

男鹿半島・大湯ジオパーク
Oga Peninsula-Oga Onsen Geopark

GEOPARK JAPAN

寒風山は標高約355mの火山です。火山活動はから3万年以上前に始まり、何度も繰り返された活動で安山岩の溶岩が積み重なって次第に大きくなることで今の形になりました。現在は3つの火口(第1火口・第2火口・妻恋峠火口)を望むことができ、「寝場の台」では溶岩の流れの痕跡なども観察することができます。

寒風山の大部分が安山岩からなり、その上を薄い表土と芝生がおおっています。この岩は「男鹿石」とも呼ばれ、垣や墓石、墓石などに幅広く用いられており、私たちの生活とも深く関わっています。

Mt. Kanpuzan is a 355m tall volcano. From the beginning of its volcanic activity more than 30,000 years ago, its size has increased through the buildup of andesite lava, giving it the shape we see today. There are presently three craters that can be observed, Crater 1, Crater 2, and the Tsumakoi Pass Crater, as well as the traces of lava at Itaba no Dai Caldera.

Mt. Kanpuzan is formed primarily of andesite, covered by a layer of top soil and vegetation. Also called "Oga Rocks", this stone is widely used for things such as dikes, garden stones, gravestones, and more, and is an inextricable part of our life.







寒風山の火口全景

自然や景観を守るために
自然や景観を守るために
自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会
Tel: 0185-24-9104
E-Mail: oga@city.oga.akita.jp

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 4/28—

■ 火山の箱庭

寒風山ジオサイト Mt. Sengun Geosite

板場の台

Itaba no Dai Caldera

男鹿半島・大潟ジオパーク Oga Peninsula Oga Geopark

男鹿国立公園 Oga Quasi-National Park

周囲よりも平らなこの場所は板場の台と呼ばれています。波打つような地形と土手のような地形は、それぞれ「溶岩じわ」「溶岩堤防」と呼ばれ、妻恋峠火山から流れ出た溶岩がつくり出したものです。どちらもそれほど大きく見えませんが、溶岩じわは高さ2m、溶岩堤防は高さ5mほどあります。ここは火山地形全体を観察する絶好のスポットになっています。

また多くの花々も観察され、春にはアズマギク、夏にはヤマユリ、秋にはセンブリなどが花を咲かせます。

Distinguished from the surrounding area by its flatter land, Itaba no Dai Caldera contains waves and embankments called "lava waves" and "lava levees" that were formed by lava flowing out of Tsumakoi Pass Crater. Although neither seem particularly large, the lava waves reach about 2m and the lava levees about 5m. This area is the ideal spot to view the volcano as a whole. In addition, you can see many flowers, including *erigeron thunbergii* in spring, *lilium auratum* in summer, and *swertia japonica* in autumn.



第一火山口 第二火山口 蛇姫長根 溶岩堤防 溶岩じわ



寒風山の花々



男鹿半島・大潟ジオパーク案内図

自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会 Tel: 0183-24-9104 E-Mail: geoparkcity.oga.akita.jp

男鹿半島・大潟ジオパーク案内図

■ 男鹿半島・大潟を一望できる展望台

寒風山ジオサイト Mt. Sengun Geosite

回転展望台から望む大潟村

View of Ogata Village from the Rotating Observatory

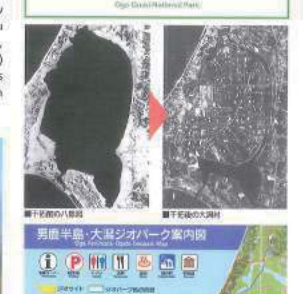
男鹿半島・大潟ジオパーク Oga Peninsula Oga Geopark

男鹿国立公園 Oga Quasi-National Park

回転展望台は昭和39(1964)年にオープンし、昭和63(1988)年に改装して現在の展望台になりました。13分かけてゆっくり回転し、座りながら360°の大パノラマをご覧いただけます。

そこから見える大潟村はかつて琵琶湖に次いで日本で2番目に大きかった八郎潟を干拓(水を汲み出して)をしてできた国内最大の人工の大地です。昭和32(1957)年から干拓工事が始まり、昭和52(1977)年に全ての工事が完了しました。

Opened in 1964, this rotating observatory was subsequently remodeled in 1988. A single rotation takes 13 minutes, during which time you can enjoy a 360° panoramic view without ever leaving your seat. From the observatory, you can see Ogata Village, Japan's largest manmade landmass, which was created by reclaiming land (draining the water) from Hachirogata Lagoon, formerly one of the largest lakes in Japan and second only to Lake Biwa. The reclamation began in 1957 and was completed in 1977.



男鹿半島・大潟ジオパーク案内図



展望台から見た大潟村



男鹿半島・大潟ジオパーク案内図

自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会 Tel: 0183-24-9104 E-Mail: geoparkcity.oga.akita.jp

男鹿半島・大潟ジオパーク案内図

男鹿半島・大島ジオパーク
Oga Peninsula-Oshima Geopark

■ 地震の死者を供養し復興を祈る

地震塚

Earthquake Memorial

男鹿山ジオサイト Murogane Sanji Site

男鹿半島を襲った地震の供養碑や復興記念碑、冷害による飢饉の犠牲者の供養碑など、5基の石碑が並んでいます。最も古い石碑は文化7(1810)年に発生した地震の供養碑です。男鹿に滞在し、この地震に遭遇した菅江真澄は「どの村にも残っている建物はないほどほとんど倒壊してしまった『男鹿の暴風』現代語訳」と、その惨状を記録しています。また、昭和14(1939)年の男鹿地震では、死者28名、被害家屋1,663棟という大きな被害が出ました。災害を風化させずに未来へ伝えていくためのメッセージを、私たちに語りかけています。

男鹿半島の地震被害を伝える石碑

There are five memorial stones in total, including those in remembrance of the earthquakes that have struck Oga Peninsula, in commemoration of the post-earthquake reconstruction, and in remembrance of those who died during famine. The oldest memorial was built in remembrance for the earthquake of 1810. Masumi Sugae, who was living in Oga at the time, wrote in "Oga no Samukaze" of his experience of the earthquake, saying, "The destruction was so widespread that hardly a building remains in any village." Then in the earthquake of 1939, 28 lives were lost and 1,663 buildings damaged. These memorials are a message to the future, which speak to us of disaster that will not be forgotten.

昭和14年の男鹿地震で倒壊した家屋

昭和14年の男鹿地震で倒壊した家屋の遺構と、文化7(1810)年の地震の死者を供養する安永に震災後報の石碑

男鹿国定公園

Oga Quasi National Park

雄島の眺めが広がる男鹿岬（中央まが公園に関する行灯はありません）

男鹿半島・大島ジオパーク案内図

Oga Peninsula-Oshima Geopark Map

(男鹿半島・大島ジオパーク案内図は、男鹿市観光協会、男鹿市教育委員会、男鹿市観光局、男鹿市観光振興会、男鹿市観光協会の協力により作成されています)

男鹿半島・大島ジオパークの成り立ち

見学所要時間 約20分

自然や歴史を守るために

問合せ

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education

Tel: 0185-24-9104
E-Mail: geosak@city.oga.akita.jp

男鹿ホームページ
http://www.city.oga.akita.jp

男鹿ジオパークネットワーク
Nagasaki Geopark Network

ジオパーク2000
Geopark 2000

男鹿市観光協会
Oga City Tourism Association

男鹿市観光局
Oga City Tourism Bureau

男鹿市観光振興会
Oga City Tourism Promotion Committee

男鹿市観光協会
Oga City Tourism Association

初期の船川港を知る遺産

船川港第二船舶入場防波堤

Funakawa Port Second Entrance Channel Seawalls

男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula Rigata Network

(船川港某景ジオサイト) *Sited view Photo location.*

船川港は明治43(1910)年に国の重要港湾指定を受け、翌年築港工事が開始、昭和6(1931)年に完成しました(開港は昭和5(1930)年2月28日)。第2船舶入塲防波堤は現在その2/3が埋め立てられています。昭和5(1930)年に完成した全長363.6mの防波堤で、寒風山で採れる虎彫石を使った間知石積み工法でつくられていました。第一船舶入塲防波堤は埋め立てられ、係留柱のみが残っています。港は昭和三十九(1914)年に第三防波堤と同様の工法で行われています。港は船川港町を活性化させ、明治三十四(1901)年には約4,500人であった人口が昭和二十五(1950)年には約17,000人になりました。

After being designated an important harbor by the government in 1910, construction on Funakawa Port began the next year and was completed in 1931, with the port officially opening on February 28th, 1930. About 2/3 of the Second Dock Seawall has now been filled in, but at the time it was built, the full length of the 363.6m seawall was made with Oga Rocks from Mt.Kanpuzan using a technique called "kanchishizumi". Built in 1914 using the same technique, the First Dock Seawall has been completely filled in, with only the mooring posts remaining. The port brought new life to the area, with the population of Funagawaninato-jichijumping from 4,500 in 1901 to 17,000 in 1950.

第二期船舶入場防波堤跡

第一期船舶入場防波堤とその延長線

第一期船舶入場防波堤の建設時

明治二十年頃の地図（旧国史館蔵）

防波堤に用いた虎彫石積み

現在の船川港

現在の船川港の位置図

男鹿市立歴史博物館 *Miyako City Museum*

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
The Onomachi Park Map

男鹿半島・大瀬ジオパークのご案内
Onomachi Park Guide

見学にあたって

- ① 見学の際は必ず事前に予約が必要です。
- ② 見学時間は午前9時から午後5時までです。
- ③ 雨天時は中止となります。
- ④ 料金：大人500円、小人250円。
- ⑤ お問い合わせ先：男鹿市教育委員会 TEL: 0185-24-9104 E-Mail: giseikiryoku@oga.akita.jp

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 8/28—

鬼の洗濯板・小豆岩

おに きんたくたい あずき いわ

- 海面の見える水平な露頭
- 千潮時だけに姿を現す丸い岩

観／錦海岸ジオサイト Onikura Beach Geosite

Oni no Sentakuita Rocks・Azuki Rocks

観ノ崎海岸は、「日本の清百選」に選ばれている美しい海岸です。沖合まで浅瀬のため、満ちが大きく引いたときには面がりになった地層からなる海底が姿を現します。約1,000万年前に深海底でできた地層が隆起し、波の侵食を受けて現在の姿になりました。そのため、魚の骨や、うろこの化石が見つかります。海岸は地層の様子から鬼の洗濯板とも呼ばれています。

また、小豆岩と呼ばれる球体の岩石が点在しています。形が愛らしく見えるのでおぼこ岩（おぼこ＝小さい子）とも言われます。この岩は泥とカルシウムやマグネシウムを含む鉱物がまじった硬い質であり、満潮時には顔だけ出ているので目立ちませんが、退潮の大潮の時期には全体を観察することができます。

The beautiful Unosaki Beach has been designated as one of Japan's Hundred Best Beaches. Because the coast is so shallow, you can see the winding shape of the sea floor when the tide is out. The shape we see today was formed 10 million years ago when the geological stratum on the sea floor rose out of the water and the softer layer was worn away by the waves, leaving only a hard layer behind. Because of this, you can find fossilized fish bones and scales here. The shape of the sea floor gives the beach its nickname, Oni no Sentakuita Rocks.

Unosaki Beach is dotted with spherical rocks known as Azuki Rocks. Because of their pretty shape, they are also called Oboko Rocks (oboko meaning "small child"). Formed from a mixture of mud and minerals such as calcium and magnesium, these hard rocks are not very noticeable during high tide, when only the tops of their heads are visible, but they can be seen in full during the early spring tide.

観ノ崎海岸で触つてみるおぼこ石

鬼舟の洗滌台と呼ばれる観ノ崎海岸の露出した地形（現在は高潮ですが、退潮も引くと覗くことができます）

観ノ崎海岸ができるまで

男勝国定公園／日本の地質構造百選／日本の清百選／日本の奇岩百景

Oga Quasi-National Park / The Top 100 Sites of Geological Structures in Japan / One hundred islands in Japan / One hundred strange shapes from Japan

男山島 磯の穴（穴と石を比べると見ます）

男勝半島・大湊ジオパーク案内図

自然や環境を守るために

この地域の風景を守っているのは私たちです。自然環境は貴重な財産です。自然環境を保護するために、私たちは自然環境を保護するためのルールを設定しています。自然環境を保護するために、私たちは自然環境を保護するためのルールを設定しています。

株式会社 男勝市教育委員会 Tel: 018524-9104 E-Mail: gogapark@city.oga.akita.jp

訪客発生時 周辺へ避難してください この場合は4分以内に避難してください

男勝半島・大湊ジオパークホームページ

■ 火山噴火被災者の露顔

館山崎ジオサイト Cape Tateyamazaki Geosite

西側の突き出た岬は館山崎、東側のこの岬は金崎と呼ばれています。金崎の崖の高さは35mほどあり、露出している岩石は火山礫凝灰岩という、火山活動で形成された岩石です。館山崎の岩石とほぼ同じ約2,100万年前に形成されましたが、波の激しい侵食によって削られてこのような断面になりました。これを薄食層といいます。ここでは硬い岩石に断層が生じた際にかかる、断層帯と呼ばれるとてもぬめらかな面を見ることができます。

On the western side is Cape Tateyamazaki, while this eastern cape is called Cape Kanezaki. The cliffs of Cape Kanezaki are about 35m tall and the exposed face is a volcanic rock called lapilli tuff. Formed about 21 million years ago at the same time as Cape Tateyamazaki, Cape Kanezaki has been eroded over the years by violent waves into what is known as a sea cliff. Here you can see the glossy surface called slickenside, which is formed when the hard rock is dislodged.

図説 館山崎と金崎

金 崎

Cape Kanezaki

男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula & Otake Geopark

館山崎ジオサイト Cape Tateyamazaki Geosite

図説 館山崎と金崎

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula & Otake Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula & Otake Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula & Otake Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula & Otake Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula & Otake Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula & Otake Geopark Map

■ 菅江真澄も記録を残す。別名まいたけ石

磐山崎ジオサイト Oga Tateyama Geo Site

つばき し ら い わ
椿の白岩
 Tsubaki no Shiraiwa Rocks

男鹿半島・大灘ジオパーク
Oga Peninsula/Ogata Geopark

江戸時代、江戸時代の紀行著者菅江真澄が「まいたけのような形をしていて、雨と潮に濡れて青んでいる」と記録しています。アイススクリームをスプーンで削ったような形をしています。長い年月の風化によってこのような形になりました。約2,100万年前の激しい火山活動でできた火山礫凝灰岩という岩です。また、双六漁港側にも大規模な白岩を観察することができます。

The Edo Period travel writer Masumi Sugae wrote of Tsubaki no Shiraiwa Rocks: "Shaped like maitake mushrooms, they appear blue when wet with rain or sea water." Though they look as if they were scooped out by an ice cream spoon, in reality they reached their present shape through many years of weathering. They are a type of volcanic rock called lapilli tuff formed by volcanic activity about 21 million years ago. A large-scale version of these white rocks can be seen on the Sugoroku Fishing Port side.

露天彫によって残え方が満ち足りた白岩

雨や潮で円すいスプーンでそっくりなようになっています。

「真いわ」の形状と名前が由来しています。

男鹿市歴史資料館蔵文庫(1904年)の日誌
(男鹿市の地形図と白岩の位置関係を示す)

雄略2年(西暦589年)の景観

男鹿国定公園／日本の奇岩百景
Oga Quasi National Park / One hundred strange stones from Japan

男鹿半島・大灘ジオパーク案内図
Oga Peninsula/Ogata Geopark Map

男鹿半島・大灘ジオパークの深り立ち

自然遺産	文化遺産	地質遺産	生物多様性	科学的価値	教育的価値	観光価値
白岩群	縄文時代の遺跡	白岩群	オガサトウカサネ	白岩群	白岩群	白岩群

自然や歴史を守るために
 男鹿市教育委員会では、白岩群の保全を図るため、白岩群の保全に関する条例を制定し、白岩群の保全に取り組んでいます。また、白岩群の保全に関する調査を行い、その結果に基づいて、白岩群の保全に関する施策を実施しています。

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: (0) 85124-9104
E-Mail: geopa@city.oga.akita.jp

防災発生時 避難指示を受けてください
この区域は**3m**未満の高さがあります

男鹿半島・大灘ジオパークホームページ
Oga Peninsula/Ogata Geopark Home Website

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 10/28—

■ きれいな緑色が特徴

館山崎ジオサイト Cape Tateyamazi Geosite

このグリーンタフは水に濡れるとより深い緑色になります。近隣の「梧の白岩」などといっしょに約2,100万年前の激しい火山活動でできた火山礫凝灰岩という岩ですが、このあたりでは熱水などの影響で緑色に変化しました。グリーンタフという用語はこの館山崎が発祥地とされています。当時の火山噴出物は緑色をしたものが多く、日本沿岸地域に広く分布しています。

また付近にはその形からかつて観音岩と呼ばれていた「ろうそく岩」(日本の奇岩百景)や「鬼の足跡」・「牛岩」と呼ばれる岩も見ることができます。

The green tuff here turns an even deeper green when wet. Like the nearby Tsubaki no Shiraiwa Rocks, it is a type of volcanic rock called lapilli tuff formed by volcanic activity about 21 million years ago, but it turned green due to influences such as warm water. The term "green tuff" is said to have originated here at Cape Tateyama. At the time, volcanic matter was often greenish, and it spread throughout the coastal regions of Japan. You can also see the nearby Fousoku (Candle) Rocks (designated as One hundred strange stones from Japan and once called Kannon Rocks due to its shape), Oni no Ashiato (Ogre's Footprint) Rocks, and Bego Rocks.



館山崎から見た館山崎の全景

グリーンタフ

Green Tuff



ろうそく岩(日本の奇岩百景)



鬼の足跡に似ているくぼみ

男鹿半島・大島ジオパーク

男鹿半島・大島ジオパーク案内図



自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会

TEL: 0185-24-9104

E-Mail: gopark@city.oga.akita.jp

地震発生時

避難場所

男鹿半島・大島ジオパーク案内図

■ 自然の美術館

潮瀬崎ジオサイト Cape Shiosezaki Geosite

潮瀬崎は波に侵食された平らな地形(波食台)が少し隆起したものです。ここでは約3,000万年前の火山の噴出物である火山礫凝灰岩が風化によって独特の形に磨り出されており、自然の美術館ともいえるジオサイトです。

ゴジラ岩 怪獣ゴジラにそっくりなことから、平成7(1995)年に名付けられました。特に口元に夕陽と夕焼け雲を重ねた「火を吹くゴジラ」が人気です。

帆掛島 帆掛船の帆に似ているということから名付けられた島です。高さは30mで男鹿半島で最も大きな岩です。

双子岩 よく似た岩が二つ並んでいます。もともとあった岩石の割れ目にマグマが入り込んで固まった岩脈(高角度)、岩床(水平)を見ることができます。

付近には、ゴジラのしっぽ岩、ガメラ岩、カメ岩などたくさん岩があります。自然が様々な彫刻をつくり出しています。

潮瀬崎

Cape Shiosezaki

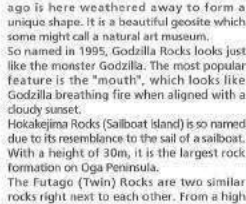
Cape Shiosezaki is a flat area eroded by waves (a wave-cut terrace) that has protruded from the ocean somewhat. The lapilli tuff resulting from volcanic activity about 30 million years ago is here weathered away to form a unique shape. It is a beautiful geosite which some might call a natural art museum.

So named in 1995, Godzilla Rocks looks just like the monster Godzilla. The most popular feature is the "mouth", which looks like Godzilla breathing fire when aligned with a cloudy sunset.

Hokakejima Rocks (Sailboat Island) is so named due to its resemblance to the sail of a sailboat. With a height of 30m, it is the largest rock formation on Oga Peninsula.

The Futago (Twin) Rocks are two similar rocks right next to each other. From a high angle you can see where magma flowed into the stone to form a dike, and from sea level you can see the bedrock.

Nearby are many other rock formations such as Godzilla's Tail Rocks, Gamera Rocks, Turtle Rocks. Another interesting sculpture created by nature.



夕陽を口にしたゴジラ岩



双子岩の形成と岩脈

男鹿半島・大島ジオパーク

男鹿半島・大島ジオパーク案内図



見学所要時間 約15分

自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会

TEL: 0185-24-9104

E-Mail: gopark@city.oga.akita.jp

地震発生時

避難場所

男鹿半島・大島ジオパーク案内図

■ 漢の武帝が降り立ち、巫女舞い踊る

西海岸ジオサイト West Coast Geosite

舞台島

Butajima Rocks

男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula-Ogata Geopark

男鹿半島ジオパーク
OGA PENINSULA GEOPARK JAPAN

その昔、漢の武帝が降り立ち、巫女に舞を踊らせたという言い伝えが残されています。島という名ですが、実際には陸続きで、海面からの高さ約60mの平らな頂上部は、天空の舞台のようです。多くの絵図にも描かれており、江戸時代にはこの名で呼ばれていました。

舞台島は火山噴火によって生じた玄武岩質の岩石で構成されます。そして、波食台と呼ばれる、波に侵食された平らな地形になり、その後隆起したと考えられています。

舞台島

江戸時代産図に描かれた男鹿図詳説
(図は複製文化財)
※等図は五世重宝の図に準拠している
男鹿図詳説の図を複製

この場所から見ると島

國史館で贈る巫女と漢の使者イメージ

観客から見た舞台島

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオパークの
降り立ち

男鹿半島・大瀬ジオ

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 12/28—

■ 天然の石橋

西海岸ジオサイト West Coast Geosite

大 棧 橋

Daisankyo Rocks

男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula Oga Geopark

男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula Oga Geopark

長い時間の波の侵食によってえぐられてできた高さ約10mの天然の石橋です。現在は陸続きになっていますが、江戸時代の初めには陸から離れていたことが記録に残されています。地球のダイナミックな動きを感じることができます。

大棧橋は火山噴火によって生じた玄武岩質の岩石で構成されています。約3,000万年前の火山活動と波がつくり出した自然の地形を海から見る観光遊覧船からの眺めがオススメです。

With a height of about 10m, this natural stone bridge was carved out by a long period of wave erosion. It is now connected to land, but there is record of it being surrounded by water as recently as the beginning of the Edo Period. This really makes you feel the dynamic movement of the earth. Daisankyo Rocks is made up of basaltic rock formed by volcanic eruption. Created by volcanic activity 30 million years ago and sculpted by the waves, the best way to view this natural rock formation is from a sightseeing boat on the sea.



男鹿江東源が記した文化7(1810)年の大棧橋
(男鹿の雄山(男鹿市立博物館蔵書))



男鹿江東源が記した文化7(1810)年の大棧橋
(男鹿の雄山(男鹿市立博物館蔵書))

男鹿半島・大瀬ジオパーク 日本一の奇岩百景
Oga Quasi-National Park / One hundred strange stones from Japan

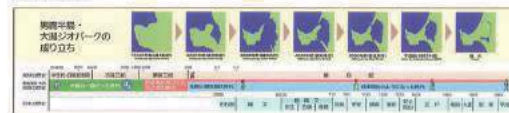


この場所から見る大棧橋



男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパークの雄り立ち



自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: 01852-9104
E-Mail: geopark@city.oga.akita.jp

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

■ 西海岸の断崖を、絹糸のように流れる

西海岸ジオサイト West Coast Geosite

白糸の滝

Shiraito no Taki Falls

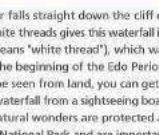
男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula Oga Geopark

男鹿半島・大瀬ジオパーク
Oga Peninsula Oga Geopark

陸上から見ることでできない滝で、本山から真っ直ぐに断崖を流れ落ちる様が、白糸の乱れ飛ぶ姿に見えることから、江戸時代の初めには既にこの名で呼ばれていました。白糸の滝は観光遊覧船から見る事ができます。

男鹿半島の雄大な自然は「男鹿国定公園」として保護されると同時に観光の重要な資源ともなっています。市域の約1/3となる8,156haが昭和48(1973)年に指定されました。

The way the water falls straight down the cliff of Mt. Honzan like white threads gives this waterfall its name ("shiraito" means "white thread"), which was already in use by the beginning of the Edo Period. Although it can't be seen from land, you can get a good view of the waterfall from a sightseeing boat. Oga Peninsula's natural wonders are protected as part of Oga Quasi-National Park and are important resource for tourism. 8,156ha, or about 1/3 of the region, was designated a protected area in 1973.



男鹿江東源が記した文化7(1810)年の白糸の滝
(男鹿の雄山(男鹿市立博物館蔵書))



男鹿江東源が記した文化7(1810)年の白糸の滝
(男鹿の雄山(男鹿市立博物館蔵書))

男鹿半島・大瀬ジオパーク 日本一の奇岩百景
Oga Quasi-National Park / One hundred strange stones from Japan



この場所から見る白糸の滝



男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

男鹿半島・大瀬ジオパークの雄り立ち



自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: 01852-9104
E-Mail: geopark@city.oga.akita.jp

男鹿半島・大瀬ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 13/28—

■昔ながらの学校建築
■日本海中部地震の記憶

旧男鹿市立加茂青砂小学校校舎・屋内体操場
Former Kamo-Aosa Elementary School Building・Gymnasium
(平成13年10月29日撮影)

合川南小学校児童地震津波殉難の碑
Monument to the Children of the Aikawa Minami Elementary School Tsunami Tragedy

加茂青砂ジオサイト Kamo-Aosa Geosite

創立明治9(1876)年の旧男鹿市立加茂青砂小学校は、平成13(2001)年に統合となり、最後の児童数は6名でした。校舎は昭和3(1928)年、屋内体操場は昭和26(1951)年に建築されました(平成23(2011)年大修理)。いずれも加茂青砂集落の歴史的景観の核になっている貴重な文化財です。現在は加茂青砂ふるさと学習施設として、様々な活動の拠点として活用されています。

昭和58(1983)年5月26日、能代沖を震源とする日本海中部地震(マグニチュード7.7)が発生し、加茂青砂の海岸にきていた合川南小学校(現北秋田市)児童の内、13名が津波にさらわれて亡くなりました。加茂青砂地区の方々も救助活動に参加し、碑は至今も集落の人たちによって大切に守られています。

Founded in 1876, the former Kamo-Aosa Elementary School in Oga City was closed in 2001 with only 6 students in its final year. The school building was built in 1928 and the gymnasium in 1951, with both undergoing largescale repair in 2011. Both are important cultural assets and central to the historical scenery of Kamo-Aosa Village. Presently the site of the Kamo-Aosa Furusato Learning Center, it is used for various different activities.

On May 26th, 1983, a magnitude 7.7 earthquake occurred in the Sea of Japan and 13 children from Aikawa Minami Elementary School (presently Kita Aikawa City) who had come to Kamo-Aosa Beach were swept away by the resulting tsunami and died. The people of Kamo-Aosa District helped in the rescue efforts and the monument is still honored by the villagers.

2001年度撮影

合川南小学校児童地震津波殉難の碑

男鹿半島・大湊ジオパークの成り立ち

男鹿半島・大湊ジオパーク案内図

登録有形文化財(国登録)/男鹿国定公園
National Registered Tangible Cultural Property/Oga Quasi-National Park

昭和3(1928)年落成当時の校舎

男鹿半島・大湊ジオパーク案内図

自然や文化財を守るために
ここは自然保護区、重要な遺産で守られている自然環境です。
自然環境を保全するためには、自然環境を保全する必要があります。
自然環境を保全するためには、自然環境を保全する必要があります。

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: 01851-24-1100
E-Mail: syougiga@city.oga.akita.jp

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: 01851-24-1100
E-Mail: syougiga@city.oga.akita.jp

■神秘的洞窟

カンカネ洞
Kankanedo Sea Cave

加茂青砂ジオサイト Kamo-Aosa Geosite

男鹿半島・大湊ジオパークの成り立ち

男鹿国定公園
Oga Quasi-National Park

流紋岩の溶岩が波の侵食と土地の隆起によってえぐられてできた男鹿半島で最大の高さを誇る洞窟洞窟です。海、陸、空(天井)に穴が開いており、洞窟内は差し込む光と波の音でとても神秘的です。その昔、洞窟の絶壁に鉄のカギを掛けて上り下りしたことから「カギカケ」と言われ、それが変化して「カンカネ」と呼ばれるようになったと言われています。

The tallest of Oga Peninsula's caverns, Kankanedo Sea Cave was carved by wave erosion of rhyolite volcanic rock and land protruding from the sea. With holes opening into the sea, land, and sky (ceiling), the light shining in and the sound of the waves give it a mysterious air. It is said that in the past, an iron lock was placed on the cave's cliff face, giving it the name Kagikakedo, or Locked Cave, which eventually became Kankanedo.

男鹿半島・大湊ジオパーク案内図

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: 01851-24-1100
E-Mail: syougiga@city.oga.akita.jp

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education
Tel: 01851-24-1100
E-Mail: syougiga@city.oga.akita.jp

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 14/28—

■ 男鹿と秋田の海物語
■ 水族館前に広がるマグマの通り道

男鹿水族館 GAO ジオサイト Oga Aquarium GAO Geosite

お が す い そ く か ん が お し ー う へ ん かい が ん

男鹿水族館GAOと周辺の海岸

Oga Aquarium GAO and Nearby Shore

男鹿半島・大潟ジオパーク
Oga Peninsula Ogasaka Geopark

男鹿国定公園
Oga Quasi-National Park

男鹿水族館 GAOは秋田県唯一の水族館で、通年展示されている男鹿市の魚「ハタハタ」や男鹿半島沿岸に生息する魚を知ることができます。

GAOの前の海岸に広がる平らなあざき色の岩は、約3,000万年前に火山から流れ出した溶岩です。その間には灰色の岩石が高くそびえていますが、これは岩脈といい、地下深くのマグマが岩石の割れ目に入り込み、その中で冷えて固まったものです。

またここでは昭和58(1983)年の日本海中部地震で発生した津波によって尊い命が失われました(スイス人女性の慰霊碑)。

Oga aquarium GAO is only aquarium in Akita Prefecture. You can see all kinds of fish from the coast of Oga peninsula including the Hata-hata(Saifin sandfish) that has been designated as a specialty marine product of Oga city.

The flat red rocks of the beach in front of GAO were formed by lava flow from the volcano about 30 million years ago. The grey rocks that rise up from the ground are called dikes and were formed when magma flowed up through cracks from deep within the earth, hardening as it cooled. The Swiss Woman Memorial Stone honors the precious lives lost here in the tsunami following the Sea of Japan earthquake of 1983.



男鹿水族館GAOで飼育されている男鹿市の魚「ハタハタ」



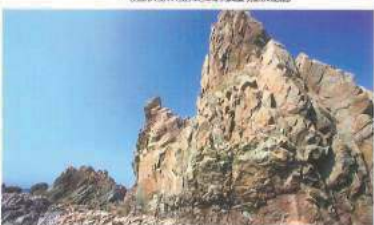
男鹿半島・大潟ジオパーク案内図



男鹿半島・大潟ジオパーク案内図



雄略の平もくもく岩



雄略の平もくもく岩



男鹿半島・大潟ジオパークの地質図

男鹿市教育委員会
Oga City Board of Education

TEL: 0185-24-5194
E-Mail: geositen@city.oga.akita.jp

自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会

TEL: 0185-24-5194
E-Mail: geositen@city.oga.akita.jp

■ 故・高松宮殿下が命名

男鹿日高火山群ジオサイト Oga-nishigahe Mountain Group Geosite

は ち ほう たい

八望台

Hachibodai Observation Tower

男鹿半島・大潟ジオパーク
Oga Peninsula Ogasaka Geopark

男鹿国定公園
Oga Quasi-National Park

八望台は八方の雄大な眺望を楽しむことができることから、昭和27(1952)年に故・高松宮殿下によって命名されました。旧北浦町が景勝地を一望できるこの台地の名称を公募し、その中から最もふさわしい名称として殿下が選んだことにより、八望台からはその名にふさわしく、本山、真山、寒風山を含めた景色を一望することができます。

江戸時代の紀行家である菅江真澄は「目高や二ノ目高、戸高を望み、図録を残しており、現在も同様の景色を望むことができます。

Named in 1952 by the late Prince Takamatsuoniya, Hachibodai Observatory offers a magnificent 365° view. Offering an unbroken picturesque view of the former Kitaura Town, the observatory solicited popular names from the public and the most fitting name was chosen from those suggestions by the Prince. Its name roughly translates to 'a view from all directions', and as befitting the name, there is an unobstructed view of Mt. Honzan, Mt. Shinzan, and Mt. Kanpuzan from the viewing platform. The Edo Period travel writer Masumi Sugawara drew his view of Ichinomegata Maar, Ninomegata Maar, and Toga Bay, and now you can enjoy the same views with your own eyes.



雄略・高松宮殿下によるご視察



菅江真澄が書いた文化文庫(1910年)の八望台がみえ(左)真山・二ノ目高・戸高



八望台からの眺望



男鹿半島・大潟ジオパーク案内図



男鹿半島・大潟ジオパークの地質図

自然や景観を守るために

男鹿市教育委員会

TEL: 0185-24-5194
E-Mail: geositen@city.oga.akita.jp

添付資料⑨ 総合案内板・説明板 —説明板 15/28—

■ 地球深部を覗く窓

いちのめがた

一ノ目潟

(平成19年7月26日指定)

Ichinomegata Maar

男鹿目潟火山群ジオサイト Oga Megata Maar Geosite

一ノ目潟は二ノ目潟、三ノ目潟とともに男鹿目潟火山群を構成しています。東北地方では唯一の火山形態の一つであるマール(爆裂火口)として知られる淡水湖で、男鹿市の水源にもなっています。直径約600m、水深約44.6mで、6～8万年前に形成されたと考えられています。

また、地球の地下深いところから噴き出た岩石である「カンラン岩」が見られる火山として、さらに湖底堆積物の層が鍋状に堆積する「年縞」が確認されている湖として、世界的に注目されている貴重な文化財です。

Ichinomegata Maar, Ninomegata Maar, and Sannomegata Maar make up the Oga-megata Maars. The only ones of their kind in the Tohoku Region, these freshwater lakes known as maars (crater lakes) provide water for the city of Oga. Ichinomegata Maar has a diameter of 600m, a depth of 44.6m, and is thought to have been formed about 60-80 thousand years ago. You can see peridotite which erupted from the depths of the earth, as well as layers of sedimentary rock called varve, making this important cultural asset world famous.



指定名称: 男鹿目潟火山群一ノ目潟
告示年月日: 平成19年7月26日
指定面積: 524,367㎡

男鹿目潟火山群一ノ目潟

一ノ目潟の概要

湖を囲むためのバレーリング風園

湖底に堆積している一ノ目潟の湖底堆積物である年縞

一ノ目潟で採れる上級マンダリン配製のカンラン岩

天然記念物(国指定)/男鹿国立公園
日本の地質百選
National Natural Monument / Oga Quaternational Park
/ One hundred geological sites in Japan

男鹿半島・大潟ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

男鹿半島・大潟ジオパークの成り立ち

自然や文化財、風景を守るために

問合せ 男鹿市教育委員会 Tel: 0185124-9103
Oga City Board of Education E-Mail: kyougakoukyo@city.oga.akita.jp

男鹿市・大潟ジオパークホームページ
Oga Peninsula Oga Geopark Official Website

■ 東北地方で唯一の火山
■ 長い浸食で湾になった火口

にのめがたとがわん

二ノ目潟・戸賀湾

Ninomegata Maar · Toga Bay

男鹿目潟火山群ジオサイト Oga Megata Maar Geosite

二ノ目潟は直径約400m、深さ11.8mです。一ノ目潟と同じマール(爆裂火口)の淡水湖で、男鹿目潟火山群の一つです。一度の火山活動で出来た火山を単成火山といい、男鹿目潟火山群も含まれます。

戸賀湾は単成火山の火口に海が侵入して形成された湾です。この火山活動は約40万年前に起こりました。火口の周りに噴出物(軽石など)が積もった丘があり、タフリングと呼ばれます。目潟も単成火山ですが、丘がほとんどなく、マールと呼ばれています。

With a diameter of 400m and a depth of 11.8m, the freshwater lake of Ninomegata Maar is one of the Oga-megata Maars. A volcano formed by a single eruption is called a monogenetic volcano, and the Oga-megata Maars are an example of this type. Toga Bay was formed when the sea flowed into the crater of a monogenetic volcano. The eruption that formed this volcano occurred about 40 million years ago. The hills around the crater, formed by volcanic material such as pumice, are called a tuff ring. The difference between this and the maars is that although they were also formed by a single eruption, they do not have this hilly ring.

湖名	直径	水深	形成年代	指定	
一ノ目潟	約600m	0.20m	6万～8万年前	天然記念物(国指定)	
二ノ目潟	約400m	0.08m	11.8m		
三ノ目潟	約400m	0.11m	31.0m	2万8千年前	天然記念物(国指定)



男鹿目潟火山群

二ノ目潟と戸賀湾

男鹿半島・大潟ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

男鹿半島・大潟ジオパークの成り立ち

自然や景観を守るために

問合せ 男鹿市教育委員会 Tel: 0185124-9104
Oga City Board of Education E-Mail: geopark@city.oga.akita.jp

男鹿市・大潟ジオパークホームページ
Oga Peninsula Oga Geopark Official Website

■ 大地のめぐみ、癒しの空間
■ 石灰岩を通るトロッコロード

男鹿温泉郷ジオサイト Oga Onsenkyo & Oga Danoko

お ぶ おん せん きょう におに かく めち

男鹿温泉郷・鬼の隠れ道

Oga Onsenkyo village・Oni no Kakuremichi Rocks

男鹿半島・大崎ジオパーク
Oga Peninsula Oga Geopark

男鹿半島・大崎ジオパーク
Oga Peninsula Oga Geopark

男鹿温泉郷（湯本温泉・石山温泉）は、古くは大同年間（806～810）に坂上田村麻呂が発見したと伝えられ、江戸時代の初めに入湯の記録が見られます。石山温泉は昭和30（1955）年頃に温泉場として発展する前、明治から大正にかけては、石山温泉と呼ばれ、阿仁や花岡の鉱山へ販売する石灰岩の露天廻りが行われていました。

鬼の隠れ道は、近年、親しみを込めて「鬼」の名をつけて呼ばれています。

石灰岩を貫通した切通しの道で、探検した石灰岩を通るためのトロッコの道でした。石灰岩の様子や堆積した状態を観察できる良い露頭となるとともに、往時を偲ぶ雰囲気を残しています。

男鹿国定公園／日本の奇岩百景
Oga Quas National Park / One hundred strange stones from Japan

It is said that the Oga Onsenkyo Village (Yumoto Onsen and Ishiyama Onsen) was discovered during the Daido Period (806-810) by Sakanoue no Tamuramaro, and the first records of people bathing in it date from the Edo Period.

Through the Meiji and Taisho Eras, Ishiyama Onsen was called Ishiyama Stone Mountain Mine before it had flourished as a onsenkyo village around 1955. At this place, limestone had mined in the way of open-air digging for selling to Ani and Hanasaka region.

Recently, Oni no Kakuremichi Rocks, or Ogre's Hidden Road is called affectionately named to which the "Oni, or Ogre" is added.

This railway cutting was used to transport limestone by minercart. As well as being a good place to observe the limestone deposits, it also has an air of ancient times.

男鹿温泉郷
Oga Onsenkyo

男鹿温泉郷ジオサイト
Oga Onsenkyo & Oga Danoko

男鹿半島・大崎ジオパークの成り立ち

男鹿半島・大崎ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map

男鹿半島・大崎ジオパークの成り立ち

男鹿半島・大崎ジオパーク案内図
Oga Peninsula Oga Geopark Map